

別記様式第1号 (第2条関係)

政務活動費交付申請書

平成31年3月29日

栃木市長 大川秀子 様  
(栃木市議会議長経由)

会派の名称 弘毅会  
会派代表者氏名 永田 武志  
(所属議員 4人)

政務活動費の交付を受けたいので、栃木市議会政務活動費の交付に関する  
条例第4条の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 545,044 円

(平成30年5月～平成31年3月)

<内 訳>

項 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費	193,448 円	全国都市問題会議 他
調 査 旅 費	198,340 円	行政視察
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	103,882 円	下野新聞購読料
会 議 費	0 円	
人 件 費	0 円	
その他の経費	49,374 円	タブレット端末通信料 他
支 出 合 計	545,044 円	



政務活動費実績報告書

金額 165,388 円

平成30年12月10日

会派代表者氏名 永田武志



印

支出項目	研究研修費
内 訳	<p>全国都市問題会議参加 10月11日～12日（永田・梅澤・中島・針谷）</p> <p>◆参加料 @10,000×4人=40,000円 ◆宿泊費 @ 8,050×4人=32,200円 ◆交通費 @23,280×4人=93,120円 ◆振込手数料 68円</p> <p>合計 165,388円</p>
事 由	<p>第80回全国都市問題会議出席のため 全国市長会主催 会場：新潟県長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡</p>
債権者 住所・氏名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)サン・トラベル 栃木市昭和町7-3</li> <li>・(株)JTB長岡支店 新潟県長岡市千秋2-278</li> <li>・(株)みずほ銀行 東京都千代田区大手町1-1-5</li> </ul>

(様式第4号)

### 視察及び研修会旅費計算票兼支払証明書

会 派 名	弘毅会	科目	研究研修費		
視察研修月日	平成30年10月10日 ~ 30年10月12日				
参 加 者	永田武志・梅澤米満・針谷正夫・中島克訓				
視 察 研 修 名	第80回全国都市問題会議				
場 所	新潟県長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡				
視 察 研 修 経 路					
※行程・運賃のわかる経路図を添付してもよい。					
10月11日 栃木駅……小山駅……大宮駅……長岡駅…… <u>研修：アオーレ長岡</u> ……ホテル泊（燕三条）					
10月12日 ホテル……燕三条駅……長岡駅…… <u>研修：アオーレ長岡</u> ……長岡駅……大宮駅……小山駅……栃木駅					
※交通費は、区間ごとに記入してください。					
支出区分	区間等	単 価	数 量	合 計	備 考
JR 運賃	栃木→長岡	5,400	4	21,600	
自由特急券	小山→大宮	980	4	3,920	
指定特急券	大宮→長岡	3,990	4	15,960	
JR 運賃	長岡→燕三条	410	4	1,640	
特急券	長岡→燕三条	860	4	3,440	
JR 運賃	燕三条→長岡	410	4	1,640	
特急券	燕三条→長岡	860	4	3,440	
JR 運賃	長岡→栃木	5,400	4	21,600	
指定特急券	長岡→大宮	3,990	4	15,960	
自由特急券	大宮→小山	980	4	3,920	
宿泊代	三条ワシントンホテル	8,050	4	32,200	上限1万円
会議参加費		10,000	4	40,000	
振込手数料				68	
会派合計				165,388	

※計算票に代えて、旅行社等からの請求書又は領収書に添付された明細書を提出してもよい。  
※領収書のない切符代等は備考欄に領収書なしと表示し、下欄の支払い証明を記入すること。

上記のとおり支払ったことを証明します。	平成30年12月10日
会派名 弘毅会	代表者名 永田 武志

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	研究研修費
-------	-----	-----	-------

領 収 証

No. 13

栃木市議会 弘毅会様

2018年10月6日

¥ 127,320 -

但し

上記金額正に領収致しました

社団法人 全国旅行業協会 保証社員

株式会社 ササノモペル

栃木市昭和町7-31(足銀新栃木支店隣り)

TEL 0282(22)4465(代) FAX 0282(24)5344



2018年 10月 2日

ご 請 求 書

栃木市議会議員 弘毅会 様

株式会社サソノホテル

〒328-0013

栃木県栃木市昭和町七番三号

TEL0282-22-1765

FAX0282-24-5344

(一般社団法人)全国旅行業協会正会員

株式会社JTB提携販売

担当者

取引銀行:

この度は当社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。  
 今回のご旅行の代金として下記の通りご請求申し上げます  
 なお、下記の内容につきましてご不明な点がございましたら  
 お早めにご連絡願います。

【ご請求内容】

10月11出発《木》 長岡2日間		ご請求額		¥127,320
	内 容	単 価	人 数	金 額
1	10/11 栃木～長岡《乗車券》	5,400	× 4	21,600
2	10/11 小山～大宮《自由席特急券》	980	× 4	3,920
3	10/11 大宮～長岡《指定席特急券》	3,990	× 4	15,960
4	10/11 長岡～燕三条《乗車券》	410	× 4	1,640
5	10/12 長岡～燕三条《特急券》	860	× 4	3,440
6	10/11 燕三条～長岡《乗車券》	410	× 4	1,640
7	10/12 燕三条～長岡《特急券》	860	× 4	3,440
8	10/12 長岡～栃木《乗車券》	5,400	× 4	21,600
9	10/12 長岡～大宮《指定席特急券》	3,990	× 4	15,960
10	10/11 大宮～小山《自由席特急券》	980	× 4	3,920
11	宿泊代《燕三条ワシントンホテル》	8,050	× 4	32,200
12	取扱料金《災害補償制度に充当》	500	× 4	2,000
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
合計金額				127,320
内金				
ご請求額				127,320

上限  
1万円  
非該当

11 31830円



栃木市議会事務局 様

請求書番号 507  
発行日 2018/09/13

### 請求書

株式会社JTB  
長岡支店  
第80回全国都市問題会議係  
支店長 大崎 創彦  
担当 [Redacted]  
TEL 0258-35-3315

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。  
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。  
2018/09/28 までに、お支払いいただきますようお願いいたします。  
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後  
に、めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額
第80回全国都市問題会議 会議参加費@10,000円	23	¥230,000
合 計	23	¥230,000
内 入 金 額		

ご請求額

¥230,000

\*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座	
【銀行名】 [Redacted]	【支店名】 [Redacted] 小堀議員 キャニセルのため
【預金種別】 [Redacted]	【口座番号】 [Redacted] ¥220,000 で振込
【口座名義】 [Redacted]	【お客様番号】 507

\*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

第80回 全国都市問題会議

会派	参加者	参加料 A	宿泊料 B	振込手数料 C	振込金額計 (A+B+C) D	キャンセルによる返金 E	会派計 (D-E)
公明党議員会	入野 登志子	10,000	20,000	67	90,067		90,067
	古沢 ちい子	10,000	20,000				
	小久保 かおる	10,000	20,000				
弘毅会	永田 武志	10,000		68	40,068		40,068
	針谷 正夫	10,000					
	梅澤 米満	10,000					
	中島 克訓	10,000					
創志会	福田 裕司	10,000		68	80,068		80,068
	茂呂 健市	10,000	20,000				
	針谷 育造	10,000	20,000				
	千葉 正弘	10,000					
誠心	大谷 好一	10,000	20,000	67	30,067		30,067
栃木未来	氏家 晃	10,000	20,000	68	90,068		90,068
	関口 孫一郎	10,000	20,000				
	松本 喜一	10,000	20,000				
	小堀 良江	10,000	20,000				
栃木政策研究会	平池 紘士	10,000	20,000	68	120,068	10,000	100,068
	森戸 雅孝	10,000	20,000			10,000	
	大浦 兼政	10,000	20,000				
	大阿久 岩人	10,000	20,000				
明政	福富 善明	10,000	10,000	67	40,067		40,067
	青木 一男	10,000	10,000				
無党派	小平 啓佑	10,000	20,000	67	30,067		30,067

520,540

振込金額  $A+B = 520,000$

振込手数料  $540円 \div \text{参加会派} 8 = 67.5円$

※端数は参加者が4人の会派に振り分け

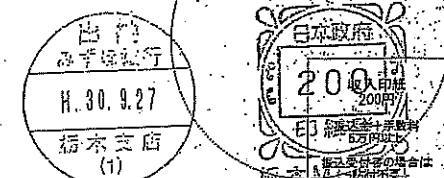
領収書

振込金(兼手数料)受取書

お振込先 お受取人	振込先 振込先名 振込先住所 振込先電話番号 振込先支店 振込先口座番号	振込金額 金額 十 億 千 万 百 十 千 百 十 一 ¥ 5 2 0 0 0 0 0 円
	振込種目 普通 当座 貯蓄 その他 口座番号 カタカナ (漢点) (半漢点) (もーす) ト チ キ シ キ カ イ シ ム キ ヨ ク	振込手数料 (消費税等込み) 540 円 小切手等
	お振込先 振込先 振込先住所 振込先電話番号 振込先支店 振込先口座番号	振込金額 金額 十 億 千 万 百 十 千 百 十 一 ¥ 5 2 0 0 0 0 0 円 振込手数料 (消費税等込み) 540 円 小切手等

午後2時以降、店頭は大変混雑いたしますので、振込依頼書はなるべく午前中にお持ちいただきますようお願い申し上げます。

みずほ銀行



みずほ銀行をご利用いただきましてありがとうございました。

視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成30年10月11日～平成30年10月12日
調査目的又は 研修会等の名称	第80回全国都市問題会議
場 所	長岡市 シティホールプラザ 第一長岡
出 席 者	会派「弘毅会」4名
報告事項	<p>平成30年10月11日(木)12日(金) 会派4名で第80回          全国都市問題会議に参加した。11日は開会式終了後、          東京大学教授 本郷和入氏による基調講演「地方分権          へのまなざし」をはじめ、主報告・一般報告等を受講した。          12日は明治大学教授、牛山文仁彦がコーディネーターとして、          埼玉県和光市長 松本武洋氏など5名のパネリストと          迎え、「市民協働による公共の拠点づくり」をテーマに          パネルディスカッションが行われた。</p> <p>2日間に亘り、多くの報告者が登壇した中で、特に印象的          であったのが初日午後の一般報告「市民との対話と連携          で進める津市の公共施設マネジメント」であった。          平成18年1月1日 10の市長村が合併し、人口約28万人。</p>
上記のとおり報告いたします。	
	平成30年11月8日
栃木市議会議員 大阿久岩人 様	会派名 弘毅会
	代表 永田武志
	報告者 永田武志



面積約711km<sup>2</sup>を擁する津市。就任以来8年目の前業泰幸市長。

◎「合併を決断した住民が目指した公共施設を作り上げる。」を合言葉に、4大プロジェクトのうち3つは、公共施設の新設であった。

既存の古くなった公共施設を統合し大きな施設を作りあげるに当たり、様々な課題に直面したことから、その内容について詳細に市民に伝えることが肝要となった。

特に斎場整備について――

既存の3つの斎場の統合整備事業として斎場の整備をPFI方式で行い、この採用は市として初めてであったことから「関心の高かった建設と運営の双方の資の担保」や「地元企業の参画」などに関して議会審議や広報において、特に丁寧に説明する様、心がけた。施設整備に2億円、約15年の運営に31億円、計53億円を投じた事業は、平成27年供用開始を迎えた。

◎公共施設の「都合な真実」を包み隠さず開示し対応策を複数提示しながら事態を打開する挑戦――。◎市民との対話から聞き取った思いや願いを反映した公共施設を作り、自然な流れで対話と連携が継続し公共施設の整備や改築用途変更や廃止に、つながっていく事例も生まれてきた。

◎すべてをオープンにし、とことん議論して公共施設を再編せよ！――。市民に原案を示し、物意図するところを丁寧に説明したところ、地域の望みがはっきりとした意思表示として明らかとなり、またこの事。最後に、『これからの公共施設マネジメント』として、

- (1) 大規模な公共施設 どれが、直面した課題を解決し  
 (2) 過去からの経緯が生み出す第三セクターの経営課題  
 を公共施設マネジメントの手法を使い、乗り越え、  
 (3) 地域住民の関心の高いテーマである文教施設の  
 統合を、知恵を絞ってやり遂げ、  
 (4) 新しい時代のコミュニティ施設やエリア再編を  
 市民の手で青写真を描く！ これが、津市の取組  
 みである——と、トップリーダーとして自信  
 と誇りに満ちあふれた姿勢を報告を結ばれた。

正に、トップの旺盛なリーダーシップが先ず肝要！  
 そして職員、議会が一丸となって市民思いを把  
 握し、その願いをかなえる公共施設マネジメントの  
 実現と、一層の、市民の対話と連携により、  
 誇れる栃木市の構築に向け邁進して行きたい。  
 市民は、市長と、我々市議会議員を選ぶ有権者であり、  
 市税を負担する納税者であり、市の構成員である。  
 栃木市の資産である公共施設の姿を決めるのは、市民  
 であるべき事を、改めて肝に銘じたい。  
 有意義な研修であった。

## 視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成 30 年 10 月 11 日～平成 30 年 10 月 12 日
調査目的又は 研修会等の名称	第 8 0 回全国都市問題会議
場 所	新潟県長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡
出 席 者	弘毅会 4 名
報告事項	
別紙のとおり	
<p>上記のとおり報告いたします。</p> <p style="text-align: right;">平成 3 0 年 1 1 月 2 0 日</p> <p>栃木市議会議長 大阿久 岩人 様</p> <p style="text-align: right;">会派名 弘毅会</p> <p style="text-align: right;">代 表 永田武志</p> <p style="text-align: right;">報告者 梅澤米満</p>	

報告事項
日時 10月11日9時30分より10月12日11時50分まで
議題
○市民共同による公共拠点とは何か
<ul style="list-style-type: none"> <li>・・・市民が自由な発想で利用することができる場。市民の自己表現と行政の公共性が融合し、施設の魅力が引き出されるとともに、予想もできない相乗効果が生まれる。</li> </ul>
○なぜ今、市民共同による公共拠点作りを進めるのか
(1) 市民活動に参加しやすい時代の到来
<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でもSNSなどネット等を通じて意見を表明したり、培ってきた知恵を活用したりする機会が増えてきた。</li> <li>・共通の目的を持った人々がつながりやすくなり、互いに協力して取り組むことが容易になっている。</li> </ul>
(2) 都市間交流の進展
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住む地域の魅力を再発見し、交流によって、地域外の資源(人、モノ、情報)も活用できるようになった。</li> </ul>
(3) 空き施設の増加
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校などの利用されない公共施設が増加している。この状況は市民共同による公共の拠点づくりをおこなう好機である。</li> </ul>
○市民共同による公共の拠点づくりに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>・・・市民活動は決して「行政の下請け」ではない。</li> </ul>
(1) 市民共同に関わる人材の育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人や市民団体の育成</li> </ul>
(2) 公共の拠点となる場所の活用
(3) まちづくりでの取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の複合化、リノベーション、中心市街地の再開発</li> </ul>

○おわりに
「市民協同に携わる人材の育成」、「公共の拠点となる場所の活用」
「まちづくりでの取り組み」を念頭に、市民や市民団体の活動、これ
に対する行政の連携・支援のあり方、さらには今後の地域社会のあ
り方などを展望しながら議論
基調講演「地方分権のまなざし」 東京大学史料編纂所教授 本郷和人
・地方の自治権を強く後押しすべきではないか
・地方からのボトムアップこそが、新しい日本を支えてく。
主報告「長岡市の市民協働」 新潟県長岡市長 磯田達伸
・市民協働の場「アオーレ長岡」
・長岡市の人づくりと未来への投資—新しい米百表—
・・・若者が活躍できるまちづくり
一般報告「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」
三重県津市長 前葉泰幸
・公共施設マネジメントにおける市民と意思疎通
・4つのミッション
「合併を決断した住民が目指した公共施設を作り上げろ！」
「公共施設の「不都合な真実」をあぶり出し、向き合え」
「市民との対話から聞き取った思いや願いを反映した公共施設を作れ」
「すべてをオープンにし、とことん議論して公共施設を再編せよ！」
・これからの公共施設マネジメント
・・・市民の対話と連携が重要
一般報告「場所の時代」 建築家・東京大学教授 隈 研吾
・場所を主役とする時代の到来

パネルディスカッション「市民協同による公共拠点づくり」	
コーディネーター	牛山久仁彦
パネリスト	伊藤香織 奥山千鶴子 羽賀友信
	松本武洋 楠瀬耕作
	・シビックプライド・・・都市に対する市民の誇り
	・コミュニケーションポイント
	・・・単なる市民個人の感情にとどまらず、街中の象徴となるものやこと、市民の行動として表われてくる特性
	・子育て支援から見た公共の拠点づくり
	・・・子育て支援は、生活を応援すること
	・団体自治から住民自治へ
	・人・モノ・金の好循環を目指して
	・・・持続可能なまちづくりに向けて
(所感)	
<p>今回の会議では、「市民協働」メインテーマになっている。全国的な都市問題として問題定義されているが、まさに栃木市においても考えることの多い問題であると感じてる。今後、人口減少に伴う生活環境や労働環境の変化、今まで行政などがおこなってきたサービスなど、継続をすることが難しくなる可能性が大いにある。そうした環境の変化に対応するためには、行政メインのまちづくりから市民メインのまちづくりへの転換が必須であり、そこを行政がサポートすることによる「市民協働」が必要なのではないかと感じた。</p>	
<p>今、栃木市の持っている観光資源や建物を有効に利用し、市民のシビックプライドを高めることができるような政策が必要であり、また、その実行には市民参画を促しながら、行っていくのが良いのではないかと思う。また、各地域の駅前や大通りなどの閉店した店舗の利活用や再生、新規事業者への支援、空き家対策など活性化対策を進めていくことが非常に重要であると考えます。</p>	

(様式第3号)

## 視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成30年10月11日(木)・12日(金)
調査目的又は 研修会等の名称	第80回全国都市問題会議
場 所	長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡
出 席 者	永田武志・梅沢米満・針谷正夫・中島克訓
<b>報告事項</b> 今回の都市問題会議の議題「市民協働による公共の拠点づくり」を主催者は配布冊子の中で概ね以下のように解説している。 <b>①</b> 1990年代以後、市民協働の推進が行政の重要な政策課題となっている。市民と行政または市民同士がお互いの長所(=市民活動の自由・自発性と行政活動の公平性)を持ち寄り、短所を補いあうことで課題を解決し、魅力的なまちづくりを進めていくことが目指されている。市民協働を実践する場を「公共の拠点」と呼ぶ。 <b>②</b> 市民協働による公共の拠点は、市民が自由な発想で利用することができる場である。今回の開催場所の複合公共施設「アオーレ長岡」もその一例である。成功した要因は、市民の誰もが立ち入りやすく、自由に利用しやすい施設(空間)を設けたことである。 <b>③</b> なぜ今、市民協働による公共の拠点づくりを進めるのか。現在が好機である理由は以下の3点である。 (1) 市民活動に参加しやすい時代の到来(市民活動に参加可能な人の増加、市民の能力や自己実現に対する意欲の高まりなど) (2) 都市間交流の進展 (3) 利用されない公共施設の増加 <b>④</b> 市民協働による公共の拠点づくりを進めるうえで、大事な視点は、市民協働を役割分担としてとらえる。「行政の下請け」ではない。(1) 市民協働に携わる人材の育成 (2) 公共の拠点となる場所の活用 (3) まちづくりでの取り組み 市民の活動を行政がどのように支えるか <b>⑤</b> 「市民協働による公共の拠点」には様々なものがある。首長や職員、議会	

には、地域の現状や課題を踏まえて取り組むことが強く期待されている。

①～④までのことを念頭に置いて議論を深めるとしている。

上記をベースに1日目は基調講演、主報告に続き2本の一般報告があった。

10月11日(木)

【基調講演】本郷和人氏(東京大学資料編纂所教授)

「地方分権へのまなざし」と題して古代から明治時代までの歴史を追いながら、江戸時代には300諸侯がそれぞれの藩、地域で教育があり、英才が育てられたことを述べた。現代の黒船は人口減少であり、第2の明治維新である。明治の中央集権(人材の中央集権も含む)とは逆に、地方分権のボトムアップこそが、新しい日本を支えていくと訴えた。

【主報告】磯田達伸氏(新潟県長岡市長)「長岡市の市民運動」

まず、開催地となった長岡市の地理、歴史の報告があり、特に小林寅三郎の米百俵の故事の「人づくりこそすべての根幹である」という考え方が、現在の長岡のまちづくりにもいかされていること、また同時期に士族や町人の垣根を超えた各界各層の長岡人が復興策などを話し合った「ランプ会」の存在が「市民協働」のまちづくりの気概を培い、復興を遂げ、現在の長岡の礎を築いたことが明確になった。

次に現在の長岡市の市民協働の実態が紹介されたが、「Face to face」が重要であるとした。市民協働の場「アオーレ長岡」は情報交換(トレード)の場であり、屋根付き広場「ナカドマ」を中心にアリーナ、市民交流スペース、市役所、議会などの機能が『渾然一体』に溶け合う複合施設・シティーホールである。

結びに、「長岡版イノベーション」の推進や長岡市の人づくりと未来への投資―新しい米百俵―への取り組みが述べられた。

【一般報告】前葉泰幸氏(三重県津市長)

「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」

津市は平成18年に10の市町村が合併し、人口28万人である。問題を抱える公共施設の問題解決を含め、住民との意思疎通に留意し公共施設の建設、再編に取り組んできた。

報告の中でのキーワードは、「地域へ入れ、潮目が変わるときが来る、その時を逃すな。感覚を研ぎ澄ませ。」また、「行政が責任をもって案を出せ。市民はそんなに暇ではない。」もリーダーの行政執行に対する力量と大きな自信が感じられ、それを裏打ちする分かりやすい説明かつ説得力のある報告だった。



【一般報告】隈 研吾氏（建築家 東京大学教授） 「場の時代」

長岡市の「アオーレ長岡」の設計者である。あわせて、デザインを担当した森本千恵氏、この建物の発注者の森民雄氏（前長岡市長）からも報告があった。

発注者の森氏は、「発注者側の建築理念をはっきりと伝えよ」、それを形にするのが設計者だ、と述べた。「市民が気軽に集える広場を作ってほしい」と隈研吾氏に伝えたそうだ。隈氏はそれを「ドマ」（かつての田舎の土間）という概念で設計した建物が「アオーレ長岡」だ。隈氏は長岡市の「中心市街地の活性化」の政策目的は、商店街の活性化より、「市民の誇り」の問題であると認識した。その鋭い発想は私には思いつかなかった。

森本氏の「事は物語が付くだけで見え方が変わる」の発言が興味深かった。

10月12日（金）

【パネルディスカッション】

テーマ 「市民協働による公共の拠点づくり」

コーディネーターの牛山氏（明治大学教授）は、人口減少時代の中、自治体の主体的な取り組みのもとで公共の拠点づくりが進んでいると切りだした。

パネリストは、以下の5名であり、各分野からの発言があった。

伊藤香織氏（東京理科大学理工学部建築学科教授）

「シビックプライド醸成のコミュニケーションポイントから考える「拠点」」

伊藤氏は「シビックプライド研究会」代表である。

シビックプライドとは「都市に対する市民の誇り」という意味だ。これはハード・インフラ整備からシティープロモーション、産業振興などまで幅広い課題がある。シビックプライドは、まちなかの象徴となるものやこと、市民の行動としてあらわれてくる特性がある。

市民と都市の接点となるものやことを「コミュニケーションポイント」と呼ぶ。これはシビックプライドを醸成する。この考え方は「市民協働による公共の拠点」にとって大切なことを提言した。

奥山千鶴子氏（NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長）

「子育て支援から見た公共の拠点づくり」

「自分の育った市区町以外で子育てをする母親」は全国で72.1%に達し、これを「アウェイ育児」と名づけた。地域子育て支援拠点事業（＝子育て広場＝乳幼児の親子が気軽に集まれる場所）概要の報告があり、次に、子育て支援

拠点事業で先進的な横浜市の地域子育て支援拠点における協働の位置づけ、横浜市の協働の歩みについて説明した。結びに、これからの地域子育て支援拠点の役割の重要性と子育てしやすい地域づくりを報告した。

松本武洋氏（埼玉県和光市長）「地域包括ケアを支える新たな拠点づくり」  
和光市の概要が紹介された。和光市は「地域包括ケア和光モデル」として有名である。コミュニティーセンターや地域センターを地域運営で行ってきた。地域包括ケアなども行われてきた。しかし、昨今は従来型の自治会などを基盤とした地域づくりではうまく機能しなくなってきた。そこで地域に関係ない全市的な場を設ける新たな展開も始めた。地域包括ケアの拠点づくりにおいて民間との協働を推進してきた。市民との協働による拠点づくりは地域へのロイヤリティを高める重要な役割を担っている。松本氏は各パネラーとの報告のやりとりの中で、これはシビックプライドの可能性ありと述べた。

楠瀬耕作氏（高知県須崎市長）「人・モノ・金の好循環を目指して」  
全国平均より10年早く進む高齢化そして人口減少が進んでいる須崎市では住民の自治力強化に取り組んでいる。南海トラフ地震津波等対策の自主防災組織や地区公民館を中心とした地域自主組織、集落活動センターの取り組みなどについて報告があった。その中で中心的に活動する人材育成や、各世代各地域に共通する心の拠点づくりをベースにしている。

具体的に、まちづくりのエンジンである須崎未来塾や空き家利活用の市街地再生について報告された。

羽賀友信氏（長岡市国際交流センター「地球広場」センター長）

「長岡の市民主体のまちづくり」

羽賀氏の報告は、お立場が長岡市のすべてを知る人であり協働の実践者であることから大変説得力のある報告であった。

長岡では自分の地域の課題は自分で解決するという意識を持った市民と市民団体の育成が急がれた平成13年に市民活動の拠点として、長岡駅前に「ながおか市民センター」が設立された。コンセプトは「生命体」であり、人が集まると何かが始まるという「場の効用」を重視し見える化を図った。

平成16年の中越地震後、各集落で復興市民会議が開かれたが、住民参加型で意見がまとめられたため、住民の意思がよく反映された。また、第三者機関（ファシリテーター）が仲介することで行政と住民の意見が直接ぶつかり合うことが回避された。その後、住民参加型ワークショップの手法やファシリテーター及びプレゼンテーターの育成など、自立心の強い人材が多く育成され

た。

平成13年に市民センターができ、現在では539団体が活動している。

長岡の人材育成は「長岡方式」と呼ばれ、まず人材をつくり、次にシステムを官民連携でつくり、最後に活動の拠点、建物をつくる。

長岡市は冬、雪が多いところだが、「アオーレ長岡」は冬でも活動ができる。

市民協働センターの相談状況は開設当初の平成24年は322件だったが、近年は850件前後となっており、市民活動に対して毎年2500万円から3000万円規模の支援が行われている。市民活動センターは、各市民団体のサポートや様々な主体をつなぐハブとしての役割を担っている。

今後は産・官・学・金の連携を緊密にしながらビジョンと施策を立ち上げる必要があり、協働の方向性は、新たな価値や活力を生み出す市民力の創出を強化していくことが求められるとした。その一つとして新産業の創出と次代に対応する市の中心部にすでに「NaDeC BASE」がオープンし、7年後には同じ場所に再開発事業の「米百俵プレイス」が設置されると報告があった。

#### 【所感】

協働に始まり協働に終わった。「協働」とは行政や議会ではよく使用されていることばだが、本市の場合、官民でそれが十分に機能しているとはいいがたいレベルであったと思う。しかし、今回の研修では開催地、長岡市において、長岡市の成功体験を十二分に研修することができた。また、その理念や協働を体現する「場」「拠点」の象徴、「アオーレ長岡」の地に立つこともできた。パネラーの皆さんの報告からもヒントをいただいた。

長岡では市民協働の始まりが北越戊辰戦争後の小林寅三郎の「米百俵」にあったこと、人材育成を重んじる考え方が現在の長岡のまちづくりに生かされていることは肝に命じた。「米百俵の群像」の大本となった戯曲の作者が本市の山本有三であったことも縁を感じた。

「シビックプライド」(＝都市に対する市民の誇り)の考え方が興味深かった。これはシティープロモーションに関係している、くらいの認識だったが、協働の面にも影響していることを知ったことは収穫であった。今後この切り口の考え方で物事を進めるとうまく解決できることが各分野に出てくるかも知れない。

ファシリテーター(仲介者、第三者機関)の存在も新鮮だった。本市でもこの役回りは検討委員会等では存在するのだろうが、もっと、多くの一般の方がこの考え方を理解し、今後、ファシリテーターを育成することは必要である。本市でも今後、美術館あるいは、伝建地区における観光情報拠点施設等の建設・運営が開始されるので、そうしたところの「場」「協働」の課題の解決に

生かしていきたい。

上記のとおり報告いたします。

平成 30 年 11 月 1 日

栃木市議会議長 大阿久岩人 様

会派名 弘毅会

代表 永田 武志

報告者 針谷 正夫

## 第 80 回全国都市問題会議報告書

栃木市議会議員 中島克訓

日時 平成 30 年 10 月 11 日～12 日  
場所 新潟県長岡市  
参加者 永田武志 梅沢米満 針谷正男 中島克訓

### 市民協働による公共の拠点づくり

10 月 11 日、12 日の 2 日間、長岡市のプラザアオーレ長岡において、「市民協働による公共の拠点づくり」をテーマに、後藤・安田記念東京都市研究所、日本都市センター及び長岡市の共催により約 2000 名の参加者を得て開催した。

1 日目は、主催者を代表して立谷会長の開催挨拶に続き、東大資料編集所教授の本郷和人氏から「地方分権へのまなざし」と題した基調講演の後、開催地の磯田・長岡市長が「長岡市の市民協働」と題して主報告を行った

その後、前葉・津市長が「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」、また、建築家で東大教授の隈研吾氏が筑波大客員教授の森民夫氏とアートディレクターの森本千絵氏と併せて「場所の時代」と題して一般報告を行った。

2 日目は、明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授の牛山久仁彦氏をコーディネーターとして、松本・和光市長、楠瀬・須崎市長、東京理科大学理工学部建築学科教授の伊藤香織氏、NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長の奥山千鶴子氏、長岡市国際交流センター「地球広場」センター長の羽賀友信氏によるパネルディスカッションを行った。

最後に、次期開催地の中重・霧島市長から歓迎のあいさつを行った後、閉会挨拶を日本都市センター理事の清原三鷹市長から行った。

### 所 感

本市においても 1 市 5 町の基礎自治体が合併しましたので、各地域には同じ公共施設が点在することとなります。最小の設備で最大の効果を出すためにはこれら重複する施設の再編をしなければなりません。全国の地方公共団体がこのことについて施策を講じています。このような中、三重県津市前葉泰幸市長から参考になるお話を聞くことが出来ました。「すべてをオープンにし、とことん議論して公共施設を再編せよ！」ということです。全国の市町村で策定が進みつつある「公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の再編整備、とりわけ、地域の公共施設群を面的に俯瞰して一体的に再編するエリア再編は、まさに市民との対話と連携なくしては進められないものです。施設をどんどん増やしていく右肩

上がりの時代とは異なり、人口減少社会に向けて、ダウンサイジングや拠点となる施設への機能統合が必要となることをお示しすると、まずは大きな反発が生じます。施設再編の必要性は分かっている、いざ身近な使節の話題となると「この施設は特別」との意見が必ず出てくる、いわゆる「総論賛成、各論反対」の弊に陥りやすいのです。何度でも足を運び、顔を合わせ、汗をかき、時間をかけて粘り強く話を聞き続け、市民の最終的な理解を得られるよう努力を重ねて行かなくてはならないと思います。


本市がこれから進める「公共施設再編化計画」まさにこの津市長の「すべてオープンにし、とことん議論」を肝に銘じて、今後進めていかなくてははいけないと強く感じました。

別記様式第2号（第3条関係）

政務活動費実績報告書

金額 28,060 円

平成30年12月10日

会派代表者氏名 永田武志  (印)

支出項目	研究研修費
内 訳	全国市議会議長会主催 研究フォーラム ・研修参加費 28,000 円 (7,000 円×4名) ・振込手数料 60 円
事 由	平成30年11月14、15日開催 「研究フォーラム」参加のため(宇都宮市) 参加者(永田・針谷・梅澤・中島)
債権者 住所・氏名	・全国市議会議長会 東京都千代田区平河町2-4-2 ・みずほ銀行 東京都千代田区大手町1-5-5

(様式第4号)

### 視察及び研修会旅費計算票兼支払証明書

会 派 名	弘毅会	科目	研究研修費		
視察研修月日	平成30年11月14日 ~ 平成30年11月15日				
参 加 者	弘毅会(永田武志・針谷正夫・梅澤米満・中島克訓)				
視 察 研 修 名	全国市議会議長会主催 研究フォーラム				
場 所	宇都宮市文化会館				
視 察 研 修 経 路					
※行程・運賃のわかる経路図を添付してもよい。					
11月14日(水)					
栃木市役所	視察研究フォーラム(宇都宮市文化会館)		栃木市役所		
11月15日(木)					
栃木市役所	視察研究フォーラム(宇都宮市文化会館)		栃木市役所		
※交通費なし(自家用車を使用し、会派で乗り合わせ)					
支出区分	区間等	単 価	数 量	合 計	備 考
研修参加費		7,000	4	28,000	
振込手数料		60	1	60	
会派合計				28,060	

※計算票に代えて、旅行社等からの請求書又は領収書に添付された明細書を提出してもよい。  
 ※領収書のない切符代等は備考欄に領収書なしと表示し、下欄の支払い証明を記入すること。

上記のとおり支払ったことを証明します。 <div style="float: right; text-align: right;">           平成30年12月10日            代表者名 永田 武志         </div>
会派名 弘毅会



(様式第5号)

### 領収書添付票

会派名	弘毅会	科目	研究研修費
-----	-----	----	-------

第13回 全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮

日時:平成30年11月14日(水)~15日(木)

会場:宇都宮市文化会館

(研究フォーラム取りまとめ旅行社扱い分)

会派名	参加者	参加料 A	宿泊 B	交通費 C	振込手数料	会派計
日本共産党 栃木市議団	白石 幹男	7,000	0	0	60	14,060
	川上 均	7,000	0	0		
公明党議員会	入野 登志子	7,000	0	0	60	21,060
	古沢 ちい子	7,000	0	0		
	小久保 かおる	7,000	0	0		
弘毅会	永田 武志	7,000	0	0	60	28,060
	針谷 正夫	7,000	0	0		
	梅澤 米満	7,000	0	0		
	中島 克訓	7,000	0	0		
創志会	福田 裕司	7,000	0	0	60	35,060
	茂呂 健市	7,000	0	0		
	内海 成和	7,000	0	0		
	針谷 育造	7,000	0	0		
	千葉 正弘	7,000	0	0		
誠心	浅野 貴之	7,000	0	0	60	14,060
	大谷 好一	7,000	0	0		
栃木未来	氏家 晃	7,000	0	0	60	28,060
	関口 孫一郎	7,000	0	0		
	松本 喜一	7,000	0	0		
	小堀 良江	7,000	0	0		
栃木政策研究会	平池 紘士	7,000	0	0	60	21,060
	森戸 雅孝	7,000	0	0		
	大浦 兼政	7,000	0	0		
明政	青木 一男	7,000	0	0	60	7,060
無会派	小平 啓佑	7,000	0	0	60	7,060
		175,000	0	0	540	175,540

振込金額 A+B+C=175,000円

振込手数料 540円÷参加会派9=60円

領収書

第13回 全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮

日時:平成30年11月14日(水)~15日(木)

会場:宇都宮市文化会館

(研究フォーラム取りまとめ旅行社扱い分)

会派名	参加者	参加料 A	宿泊 B	交通費 C	振込手数料	会派計
日本共産党 栃木市議団	白石 幹男	7,000	0	0	60	14,060
	川上 均	7,000	0	0		
公明党議員会	入野 登志子	7,000	0	0	60	21,060
	古沢 ちい子	7,000	0	0		
	小久保 かおる	7,000	0	0		
弘毅会	永田 武志	7,000	0	0	60	28,060
	針谷 正夫	7,000	0	0		
	梅澤 米満	7,000	0	0		
	中島 克訓	7,000	0	0		
創志会	福田 裕司	7,000	0	0	60	35,060
	茂呂 健市	7,000	0	0		
	内海 成和	7,000	0	0		
	針谷 育造	7,000	0	0		
	千葉 正弘	7,000	0	0		
誠心	浅野 貴之	7,000	0	0	60	14,060
	大谷 好一	7,000	0	0		
栃木未来	氏家 晃	7,000	0	0	60	28,060
	関口 孫一郎	7,000	0	0		
	松本 喜一	7,000	0	0		
	小堀 良江	7,000	0	0		
栃木政策研究会	平池 紘士	7,000	0	0	60	21,060
	森戸 雅孝	7,000	0	0		
	大浦 兼政	7,000	0	0		
明政	青木 一男	7,000	0	0	60	7,060
無会派	小平 啓佑	7,000	0	0	60	7,060
		175,000	0	0	540	175,540

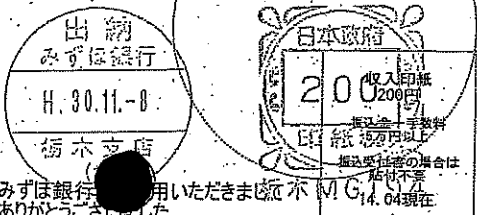
振込金額 A+B+C=175,000円

振込手数料 540円÷参加会派9=60円

領収書

# 振込金(兼手数料)受取書

お振込先	支店名	(漢字かじ、左詰め)	支店
	お振込先	金額	十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 一
お受取人	預金種目	普通 当座 貯蓄 その他	口座番号
	おなまえ	振込手数料 (消費税等込み)	小切手等
ご依頼人	お受取人さまが指定した番号がある場合 振込依頼人番号	0 8 0 8	変更手数料 648円 相戻手数料 864円
	おなまえ	トチキ シキ カイシ ムキヨク	金額はすべて消費税等を含みます。(2014年4月1日現在)
日中のご連絡先 電話番号・携帯電話番号		左詰めで市街局番から記入(一は不要)	
		( 0 2 8 2 2 1 2 5 0 4 )	



午後2時以降、店頭は大変混雑いたしますので、振込依頼書はなるべく午前中にお持ちいただきますようお願い申し上げます。

みずほ銀行

みずほ銀行 用いただきまじ ありがとうございます。

視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成30年11月14日～平成30年11月15日
調査目的又は 研修会等の名称	第13回全国市議会議長会研究フォーラム
場 所	宇都宮市文化会館
出 席 者	会派「弘毅会」 4名

報告事項 平成30年11月14日(水)15日(木)、会派4名で第13回  
 全国市議会議長会研究フォーラムに参加した。14日の  
 午前、中央大学法学部教授の宮本太郎氏による基調講演  
 「地域共生社会」をどうつくるか 2040年を越える自治体の  
 かたち——を、学んだ。 「受け手」  
 ○制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」という関係を超えて、  
 地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として  
 参加し地域をともに創っていく社会を、これからの地域  
 づくりの新しい目標とすべし。  
 ○ピンチをチャンスに、チャンスを実現にする道、必要縁が広がる町。  
 ○困窮と孤立を越えて「誰かが入財」のまちへ  
 ○定年後男性の地域デビュー支援が大事業推進が活躍の町へ

上記のとおり報告いたします。

平成30年12月15日

栃木市議会議長 大阿久岩人 様

会派名 弘毅会

代表 永田武志

報告者 永田武志

等を訴えられた。

第2部は パネルディスカッション「議会と住民の  
関係について」をテーマに、江藤俊昭山梨学院  
大学法学部教授をコーディネータとして、4名の  
パネリストが登壇し、活発な議論が展開された。

- 議会が多様な民意を組み上げる組織になっていない。
- 国からの業務移譲などで行政が肥大化し政治上の  
非決定化が進行する中、議会は難い立場にある。
- 合併による大規模化で住民ニーズをくみ取りにくくなった。
- 議会改革も取り組んでいるが投票率が上がらない現状。
- 公選法の規制が厳しく、候補者の訴えが住民に届きにくい。
- 議員に必要なものは話す力ではなく聞く力である。
- 議会人としての使命感や誇りとともに、「住民参加型の  
活動に積極的に参加し、問題を把握すべきである。  
又宇都宮市議会議長・小林紀夫氏からは、議員任期  
の見直しや副市長には、議員を充て権能を高めるべき  
など、大胆な提案も出された。

15日は、4名の各市議会議長、副議長が登壇し、  
地方議会の課題などに関する事例発表が行われた。  
広島県竹原市議会・議長の道法知江氏の報告では、  
妻として、母として 政治の世界に飛び込む決意として

- 変化しない女性軽視の社会を変えたい。
- 身近の困っている母親たちの本物の声を直接届けたい。
- お互いが尊重し認め合う議会に—— など風  
議会人として、感銘を受けた。

議員として住民の声を聞く技量を高める必要性、議員の役割  
も、今まで以上に重要になることを実感した。意義ある1日であった。

視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成 30 年 11 月 14 日～平成 30 年 11 月 15 日
調査目的又は 研修会等の名称	全国市議会議長会議研究フォーラム
場 所	宇都宮市文化会館
出 席 者	栃木市市議会議員
報告事項	
別紙のとおり	
上記のとおり報告いたします。	
	平成 30 年 11 月 20 日
栃木市議会議長 大阿久 岩人 様	会派名 弘毅会.....
	代 表 永田武志.....
	報告者 梅澤米満.....

報告事項
基調講演
宮本太郎（中央大学法学部教授）
「地域共生社会」をどうつくるか 2040年を超える自治体のかたち
○2040年問題
現在の地方の人口構成をみると、高齢化が顕著に見られるが、その一つの要因として、東京への若者の流失がみられる。2015年の東京の人口は1351万人であるが、2040年では1376万人になると予想されている。
○「ピンチをチャンスに」「チャンスを実実に」
社会的弱者を認定し保護する福祉から皆を元気にする包括支援と活躍の場づくり、新しいつながり
2040年ピンチをチャンスに変えた自治体とピンチに飲み込まれた自治体が分かれる
○ずっと出番のあるまちへ
高齢化社会及び若年層の減少は地域の発展にはマイナスであるが、生涯活躍のまりづくりを進めることで、労働力や地域の活力を得られる。
○まとめ
2040年問題を解決するには、ピンチをチャンスに変える発想が大切であり、政治の役割は大きい。部局の役割を超えた包括支援の場づくりなどの体制を整えることが大切であると感じた。
パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」
コーディネーター 江藤俊昭（山梨学院大学大学院研究科長・法務部教授）
パネリスト 今井 照（公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員）
本田 節（有限会社ひまわり亭代表取締役、
食・農・人総合研究所 リュウキンカの郷主宰）
神田誠司（朝日新聞大阪本社地域報道部記者）
小林紀夫（宇都宮市議会議長）

○信頼され、魅力ある議会の創造
住民自治の推進、議員のなり手不足の解消の正攻法
・・・住民と歩み、住民福祉の向上で成果をあげる議会、議員だけではなく住民とともに考え、活動する議会が不可欠である。
○自治体政治の総量を上げる
・SNS時代における「政治」への忌避感
・計画策定を通じた国による市町村統制と責任転嫁
○市民活動から議会への問いかけ
・議会として市民活動と協力できる余地があるのではないか
○自治体政治の総量を上げる
・自治体政治の総量＝議員数×時間
・自治体政治のミッション＝地域社会と市民生活を「維持」する
・権力が議会にあることを示す（①首長との争点形成に勝つ、②県や国との争点形成に勝つ、③市民の支持獲得競争に勝つ）
課題討議 「住民と議会の関係について」
コーディネーター 江藤俊昭（山梨学院大学大学院研究科長・法務部教授）
桑田鉄男（久慈市議会副議長）
伊藤健太郎（新潟市議会議員、
新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチームリーダー）
ピアンキ アンソニー（犬山市議会議長）
道法知江（竹原市議会議長）
○議会報告会の失敗から逆転の発想へ
・参加者が集まらない
・参加者が年配に偏る
・特定の人だけが発言し、他の人が発言できない
・議会や行政に対する不満・陳情に終始する
・会場の雰囲気が悪い



これらの事を踏まえ、協働する場を目指している。

・対話手法・・・ワールド・カフェ方式

・対話スキル・・・ファシリテーション

空間のデザイン、参加者のデザイン、プログラムのデザイン、  
プロセスのデザイン

(所感)

今回の研究フォーラムでは、議会のあり方と市民協働への考え方に焦点を当てた事例が多くみられた。開かれた議会を進めるにあたり、報告会などで市民に親しみやすく接しやすいワールドカフェ方式などを多く取り入れている議会が増えてきている。栃木市においても、さまざまな取り組みを行っているが、年配者が多くなる傾向がある。これからの栃木市を形成していく若い世代の市民の声を聞くことが重要であることはもちろんだが、一方的に意見を聞くだけではなく、対話を重視し、市民との協働によるまちづくりに向けて対応していかなければならないと感じた。限りある予算の中で、市民の力を活用しながら、行政のバックアップを受けてまちづくりを推進することが重要であると考え。それには、市民の協働への理解を進めることも重要であり、ワークショップなどを取り入れた勉強会や意見交換など合意形成に向けた活動が、今後の栃木市においても必要ではないかと感じた

(様式第3号)

## 視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成30年11月14日(水)・15日(木)
調査目的又は 研修会等の名称	第13回全国市議会議長会研究フォーラム
場 所	宇都宮市文化会館
出 席 者	永田武志・梅沢米満・針谷正夫・中島克訓
<b>報告事項</b> ■基調講演 テーマ「地域共生社会」をどう作るか～2040年を超える自治体のかたち～ 講師 宮本太郎氏(中央大学法学部教授)  人口減少と高齢化で各自治体の行政の持続可能性が問われる2040年問題がある。困窮と孤立を超えて「誰もが人財のまち」を、定年後の地域デビュー支援で「生涯活躍のまち」をめざしていかなければならない。それには新しい家族縁や新しい地縁をつくる必要があると語った。  ■パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」 コーディネーター 江藤俊昭氏(山梨学院大学法学部教授) パネリスト 今井 照氏(地方自治総合研究所主任研究員) 本田 節氏(有限会社ひまわり亭代表取締役) (熊本県人吉市議) 神田誠司氏(朝日新聞記者) 小林紀夫氏(宇都宮市議会議長)  今井氏は、「市(議会)」の政治環境は「身近な政治」(町村)でもなければ、「大きな政治」(国)でもないため「遠い政治」となっている。「合併」による大規模化で住民のニーズをつかみにくくなっている。また、国からの業務移譲などで行政が肥大化し政治上の非決定かが進行し、議会の立ち位置が難しくなっていると話した。	

本田氏は、住民から信頼される議員であるためには議会人としての使命感や誇りが必要である。住民参加型の活動に積極的に参加して課題を把握することが大切とした。

神田氏は「議員に必要なのは話す力でなく聞く力である。よく聞き、政策に生かしていくことが大切」と説いた。議会だよりの充実化も訴えた。

小林氏は議会と住民の関係を近づけるために、大選挙区の解消も方法のひとつと問題提起した。

#### ■課題討議 「議会と住民の関係について」

コーディネーター 江藤 俊昭氏

事例報告者 桑田 鉄男氏 (久慈市議会副議長)

伊藤健太郎氏 (新潟市議会議員 新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチームリーダー)

ビアンキ アンソニー氏 (犬山市議会議員)

道法 知江戸氏 (竹原市議会議員)

桑田氏は、市民と議会が協働する場を目指す「かだつて会議」について説明した。対話手法は、ワールド・カフェ形式、対話スキルとしてファシリテーションを採用し、話しやすい環境を整えた。結果的にシチズンシップ教育、主権者教育にも繋がった。

伊藤氏は、若い世代への主権者教育に取り組んでいる議会の様子を報告した。中学校での模擬市議会を実施している。

ビアンキ アンソニー氏は「市民参加」と議会機能向上を目指した取り組みを紹介した。その一つ、「市民フリースピーチ」は市民が議場で5分間市政全般に関して発言する仕組みである。その意見は議員が議員間討議を行い、申し入れなどのアクションをとる。

道法氏は、「女性と議会」をテーマに、多様化する現代社会に女性の力が必要と訴えた。

コーディネーターの江藤氏は次のようにまとめた。議会と住民の関係を強化するには議会の魅力を高め、信頼されることが必要である。政策立案やチェック機能に加え議会側からの情報発信が重要である。

【所感】全国から 2200 名の市議会議員が宇都宮市に集まり、「議会と住民の関係」について多くを学ぶことができた。具体的な各市の事例を折り込みながらのフォーラムであり、説得力もあった。

特に印象に残ったのは、議員は話す力よりも聞く力が重要であるということ。また議会報告会の重要性を再認識した。

本市も議会報告会を進めてきているが、もっと参加しやすい雰囲気作りを演出することも必要であろう。例えば、岩手県久慈市「かだつて会議」の〈ワールドカフェ形式〉のような対話手法をとりいれてみることも選択肢の一つとしてある。

コーディネーターの江藤氏も附属資料で詳しく触れているが、「議会改革はあくまで運営という形式の変更であり、それは目的ではない。住民の福祉の向上に結合させることが必要である。」「その最も重要な1つが議会からの政策サイクルの構築である。」まさしくこの目的に向けて、取り組んでいきたい。本市議会も間違いなくこの近くまできているのだから。

上記の通り、報告いたします。

平成30年12月25日

栃木市議会議長 大阿久岩人 様

会派名 弘毅会

代表 永田 武志

報告者 針谷 正夫

# 第13回全国市議会議長会研究フォーラム報告書

栃木市議会議員 中島克訓

日時 平成30年11月14日～15日

場所 宇都宮市文化会館

参加者 永田武志 梅沢米満 針谷正男 中島克訓

## 第一日目

一部は、中央大学法学部教授の宮本太郎氏が「地域共生社会」をどうつくるか～2040年を越える自治体の形と題し基調講演。宮本氏は人口減少社会のなかで、就労や定年後の「地域デビュー」といった住民が活躍する場の必要性を語り、「ずっと出番のある町、多様な縁を作ることが大切だ」と訴えた。

2部のパネルディスカッション「議会と住民の関係について」には、地方自治総合研究所主任研究員の今井照氏、元熊本県人吉市議で郷土家庭料理店代表の本田節氏、朝日新聞記者の神田誠司氏、宇都宮市議会議長の小林紀夫氏が登壇した。本田氏は住民から信頼される議員の要素として、議会人としての使命感や誇りと共に、「住民参加型の活動に積極的に参加し、問題を把握することが大切だ」と指摘した。小林氏は、「議会と住民の関係を近づけるためには、大選挙区の解消も方法の一つと考えられる」と問題提起した。

## 第二日目

「議会と住民の関係」をテーマに課題討議した。

岩手県久慈市議会の副議長桑田鉄男氏は、参加しやすい雰囲気を作り市民と議会が協働する場と位置付けた「かだって（かたって）会議」を説明。「参加者の中から議員になった人がいる。若い人への主権者教育にもなった」と報告した。

主に若い世代への主権者教育に取り組む新潟市議会の議員伊藤健太郎氏は、学校で行う模擬市議会について報告。市議会への理解が深まったと同時に、「若者と触れ合うことで議員も変わる」と効果を強調した。

市民参加と議会機能向上を目指す愛知県犬山市議会議長で米国出身のビアンキ・アンソニー氏は、市民が議場で5分間市政に対し自由に意見を述べる「市民フリースピーチ」を紹介。意見は議員が討議を行い「市民に参加すれば実現できる」という気持ちが芽生え、市民参加が活発になるとした。

広島県竹原市議会の議長道法知恵氏は「女性と議どの地域でも会」をテーマに「多様化する社会に女性の視点は欠かせない」とした。

会場からは議員定数削減に関する質問があり、ピアンキ氏は私見と断ったうえで「減らしたほうがいい」と発言。地域の代表ではなく、市全体を見て判断する議員が必要とした。

コーディネーターを務めた山梨学院大大学院研究科長の江藤俊昭氏はフォーラム全体を振り返り、「議会と住民の関係を強化するには議会の魅力を高めることが必要だ」とし、政策立案やチェック機能に加え情報発信の重要性を説いた。

## 所 感

どの地域でも住民の政治離れが顕著に現れ、それを打開するため本市同様いろいろ工夫され取り組んでいることを伺いました。「議会報告会」、「議会広報紙発行」この二つは本市における市民と議会を身近にする媒体でありますので、今後もより一層充実させていかなくてはいけないと再度考えさせられました。今後は、市民の政治離れを改善するためにも、特に若者に対しての主権者教育が大切ではないかと感じました。

## 政務活動費実績報告書

金額 198,340 円

平成31年 1月 30日

会派代表者氏名

弘毅会  
永田 武志

支出項目	調査旅費
内訳	11月6日~7日 行政視察(石川県金沢市、奈良県奈良市) 4名分 交通費 159,200 宿泊費 33,200 手土産・送料 5,940
事由	石川県金沢市、金沢21世紀美術館及び 奈良市、財団法人「大和文華館」の現地視察のため
債権者 住所・氏名	株式会社サントラベル 栃木市昭和町7-3 東武鉄道株式会社、JR東日本、 JR東海 近畿鉄道株式会社、北陸鉄道、 (株)東武宇都宮百貨店 栃木市役所店

(様式第4号)

# 視察及び研修会旅費計算兼支払証明書

会派名	弘毅会	科目	調査旅費
視察研修月日	平成30年11月6日～平成30年11月7日		
参加者	永田武志・梅澤米満・針谷正夫・中島克訓		
視察研修名	金沢21世紀美術館について／大和文華館について		
場所	石川県金沢市、財団法人「大和文華館」(奈良市)		

## 視察研修経路

11月6日(火)

特急きぬ 7-パンパ-ライン かがやき505号  
 栃木駅 春日部駅 大宮駅 金沢駅 昼食(金沢市内)  
 7:36発 8:17発 9:02発 11:06着

バス  
 金沢駅 広坂21世紀美術館 金沢市「金沢21世紀美術館」(研修)  
 12:36発 12:50着 13:00～14:30

バス 特急92号 近鉄特急  
 広坂21世紀美術館 金沢駅 京都駅 近鉄奈良駅 ホテル  
 14:38発 15:31発 18:00発 18:35着

11月7日(水)

近鉄奈良線  
 ホテル 近鉄奈良駅 学園前 大和文華館(研修) 昼食(奈良市内)  
 10:00～11:30

近鉄奈良線 のぞみ28号 やまびこ215号 両毛線  
 奈良駅 京都駅 東京駅 小山駅 栃木駅  
 13:53発 14:56発 17:36発 18:30発 18:41着

支出区分	区間等	単価	数量	合計	備考
(東武)運賃	栃木～大宮	810	4	3240	
指定特急料金	栃木～春日部	820	4	3280	
(JR)運賃	大宮～奈良	10,150	4	40,600	
指定特急料金	大宮～京都	9,070	4	36,280	(6,270円) +2,000円)
(北陸鉄道)バス	金沢駅～広坂美術館	400	4	1,600	
(近鉄)運賃	近鉄奈良～京都	620	4	2,480	
指定特急料金	近鉄奈良～京都	510	4	2,040	
(近鉄)運賃	近鉄奈良～学園前	260	4	1,040	
(JR)運賃	京都～栃木	9,610	4	38,440	
(JR)指定特急料	京都～東京	5,500	4	22,000	
特急料金	東京～小山	2,050	4	8,200	
宿泊代	スマイル.ホテル奈良	8,300	4	33,200	上限1万円
手土産代	(金沢市・奈良市)	2,160	2	4,320	
送料	金沢市市議会	756		756	
送料	奈良市大和文華館	864		864	
会派合計		51,880		198,340	

\*計算票に代えて、旅行者などからの請求書または領収書に添付された明細書を提出してもよい。

\*領収書のない切符代等は備考欄に領収書なしと表示し、下欄の支払い証明を記入すること。

上記のとおり支払ったことを証明します。

30年 12月 19日

会派名 弘毅会

代表者名

永田武志



2018年 11月 3日

ご 請 求 書

栃木市議会議員 弘毅会派 様

株式会社サソノホテル

〒328-0013

栃木県栃木市昭和町七番三号

TEL0282-22-1765

FAX0282-24-5344

(一般社団法人)全国旅行業協会正会員

株式会社JTB提携販売

担当者

取引銀行:


この度は当社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。  
 今回のご旅行の代金として下記の通りご請求申し上げます  
 なお、下記の内容につきましてご不明な点がございましたら  
 お早めにご連絡願います。

【ご請求内容】

11月6日出発《火》 視察研修旅費及び宿泊費				ご請求額	¥192,400
	内 容	単 価	人 数	金 額	
1	11/6 栃木～大宮《乗車券》	810	× 4	3,240	
2	11/6 栃木～春日部《指定特急券》	820	× 4	3,280	
3	11/6 大宮～奈良《乗車券》	10,150	× 4	40,600	
4	11/6 大宮～金沢《指定特急券》	6,370	× 4	25,480	
5	11/6 金沢～京都《指定特急券》	2,700	× 4	10,800	
6	11/7 金沢駅～広坂21世紀美術館《北陸鉄道バス往復》	400	× 4	1,600	
7	11/7 近鉄奈良～京都《乗車券》	620	× 4	2,480	
8	11/8 近鉄奈良～京都《指定特急券》	510	× 4	2,040	
9	11/9 近鉄奈良～学園前《乗車券》	260	× 4	1,040	
10	11/7 京都～栃木《乗車券》	9,610	× 4	38,440	
11	11/7 京都～東京《指定特急券》	5,500	× 4	22,000	
12	11/7 東京～小山《自由席特急券》	2,050	× 4	8,200	
13	宿泊代《スマイルホテル奈良》	8,300	× 4	33,200	
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計金額				192,400	
内金					
ご請求額				192,400	

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名 弘毅会	科 目 調査旅費	
<div style="position: absolute; top: 0; right: 0;">A 宛先確認</div> 		
<b>お届け伝票</b>		
郵便番号 9200-8577	郵便 〒 金沢市本坂 1-1-1	
お客様番号 076-220-2388	電話 石川 金沢市本坂 清水邦彦 様	
郵便番号 9200-2503	郵便 〒 石川県金沢市本坂 9番25号 石川 金沢市本坂 清水邦彦 様	
お客様名 石川 金沢市本坂 清水邦彦 様	お名前 石川 金沢市本坂 清水邦彦 様	
お客様名 石川 金沢市本坂 清水邦彦 様	お名前 石川 金沢市本坂 清水邦彦 様	

お問い合わせ番号 5603-0314-2582	30年10月28日	商品コード 7308	品名 御見舞	数量 1
贈 売場 金柑屋	内線 0282-6287	扱着		

中元・歳暮	壽	御祝	御見舞	内祝
年賀・年中	依気祝	粗品	御礼	無地

配達希望日	月	日	( )	時間帯	個口
-------	---	---	-----	-----	----

単価	金額
送料	\$2160
小計	\$756
合計	\$2916

配送お問い合わせセンター TEL 028(635)8850

運送料一万円未満(印紙税は非課税)

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘教会	科 目	調査旅費
-------	-----	-----	------

強へ、せのわのりお費おにわじ。

# ゆうパック

2017.02

### お届け伝票

郵便番号	68000314
都道府県	奈良
市区町村	奈良市
番地	学園南1-11-6
電話	0742-45-0544
お名前	財団法人大和文華館 浅野秀則 様
郵便番号	8288686
都道府県	奈良
市区町村	奈良市
番地	中元25号
電話	0282-21-2500
お名前	奈良中義会事務局 様

お問い合わせ番号	5603-0314-2604
商品コード	30年10月
記号	①
品名	7308
数量	1
商品説明	青湯 内線 0282 扱者 金村屋 25-6287
単価	¥2160
金額	¥2160
送料	¥864
小計	¥3024
合計	¥3024

中元・歳暮	寿	御祝	御慶	内祝	SE
年賀・暑中	快気祝	粗品	御礼	無地	志
記述希望日	月 日 ( )	時間	個口		

丸判引合

配送お問い合わせセンター TEL 028(635)8850

運送料一万円未満(印紙税は別課税)

東武宇都宮百貨店  
宇都宮市園町5-4 〒320-8560  
TEL 代表/028-696-2211

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	調査旅費
-------	-----	-----	------

**領 収 証**

No. 10


栃木市議会議員  
弘毅会 様

2018年11月3日

¥ 192,400 -

但し1/6視察研修旅費及び宿泊費  
上記金額正に領収致しました

社団法人 全国旅行業協会 保証社員  
株式会社 **トブ**  
栃木市昭和町7-31(足袋新栃木支店隣り)  
TEL 0282(22)1755(内線) 0282(24)5344



**領 収 書**

A 005811

平成 30年10月29日

弘毅会 様

金 額			百万		千	円
				4	5	940

ただし 御菓子代として

この領収書には、右記の金額の消費税および地方消費税が含まれています。

	百万		円
		440	

印紙税申告納  
付につき字都宮  
税務署承認済

上記金額正に領収いたしました。

種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 現 金
	<input type="checkbox"/> 東武カード
	<input type="checkbox"/> 他社クレジット
	<input type="checkbox"/> 外資VIPカード
	<input type="checkbox"/> その他( )

**TOBU** 株式会社 東武東都宮百貨店  
栃木市役所前  
TEL 代表/0282-221-2201

売場名 **銘店** 内線 投者

視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成30年11月6日～平成30年11月7日
調査目的又は 研修会等の名称	会派『弘毅会』行政視察
場 所	石川県金沢市『金沢21世紀美術館』、奈良県奈良市『大和文華館』
出 席 者	会派『弘毅会』4名
報告事項	<p>平成30年11月6日(火)7日(水)、会派4名で行政視察を実施した。6日は石川県金沢市の『金沢21世紀美術館』を訪れ、美術館の概要、短期間で入館者1,000万人を達成した要因について、運営状況について等、担当者より説明を受けた。当館は平成7年 県と共同で整備構想検討委員会を設置平成16年10月開館した。開館1年で入館者157万人達成、平成23年8月には入館者1,000万人を達成した。平成28年度254万人、29年度237万人、平成26年10月、開館10周年を迎えた現代美術館である。平成30年の今年、金沢市は、日本・中国・韓国のか国で文化芸術の発展を目指し、様々な文化芸術イベントを実施する</p>
上記のとおり報告いたします。	
平成30年12月15日	
栃木市議会議員 大阿之岩人 様	会派名 弘毅会
	代 表 永田武志
	報告者 永田武志

「アジア文化都市」の日本における南雀都市となった。

この「東アジア文化都市2018金沢」と協働し、

展覧会やパフォーマンス、映画など、あらゆるプログラムを通じて、アジアから湧き出る表現や活動を積極的に取り上げている。

金沢21世紀美術館の概要は——北陸

新幹線開業効果を活かす美術館運営——

。伝統とは——単に過去の形式を踏襲するのではなく「革進の営み」により新たな価値を創造するもの——としている。

◎美術館の目的と方針は、

まちと共に成長し「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの創出」に資する。

(市の施策における位置づけ)として

。金沢の都市の魅力を高め、世界に向けて文化発信  
。歴史性と現代性の対比を実現(新たなまちづくり)を推進。

◎施設概要

。敷地面積 約2万7千㎡

。延床面積 約1万7千㎡

。円の直径113m 高さ15m 外周350m

。壁面ガラス12枚(厚さ4cmのペアガラス)

。全体事業費約200億円(建築費113億円、用地費78億円)

(建物の特徴)

。円形施設 入口4ヶ所(表裏のない円形)

◎利用料金収入41億円 ◎物販等収入16億円

◎市指定管理料43億円——以上が主な概要である。

展示室は13ヶ所。又、目玉とされる恒久展示作品の9施設であるが、たとえば、光を体感させ知覚の本質について問いかける...等の物体は、自分の感覚では、理解し難い感もあつた...。

7日奈良県奈良市「大和文華館」に於いて研修させて頂いた。先ず館長室にて、浅野秀剛館長より、800㎡のスペースを確保すべき  
 ○市所有のコレクションは多く持っていないと良い作品を借りられない。(他館より)

○費用対効果——東京、宇都宮とは違う

○1Fに教育普及事業の拡大も必要

○寄附については、もう覚悟と断る覚悟が必要

○負担のかからない物を寄附として頂くべき

など、本市建設計画中の(仮)文化芸術館建設について貴重なアドバイスを頂いた。

大和文華館は昭和35年、近鉄創立50周年事業の一つとして建設、開館した。

収蔵品は日本・中国・朝鮮を中心とした絵画、書蹟、彫刻、陶磁、漆器、金工、染織、ガラスなどの、2,000件を所蔵、国宝4件、重要文化財31件、重要美術品14件が含まれている。

又、古文書664件、富岡鉄斎書画143件、和書6,162冊がある。

年間、約7回、館蔵品中心の平常展を行い、期間中に本館学芸員による日曜美術講座の実施、又、毎年1〜2回、借り展示する特別展では列品解説も行っている。開館時間は午前10時〜午後5時。

休館日は毎週月曜日。入館料は一般620円

高校・大学生410円、小中学生無料。

特別展のみ一般930円、高校・大学生720円、小中学生無料である。職員数は館長以下職員は14名。

小学校から大学まで、東洋の美術にふれる鑑賞教育の場を提供し実習の受け入れなども行っている。

館長との対談後、機械室・収蔵庫など案内して頂き、つぶさに研修させて頂いた。

本市の(仮)文化芸術館検討委員会の委員長さんである浅野館長さんには、お忙し中、我々会派4名の為に時間を割いて頂き、長時間に亘りご指導いただき、心から感謝している。

財田老人の天和文華館と、市(仮)文化芸術館では、スケールの違いこそあるもの、大変意義ある貴重な研修とさせて頂いた。



## 視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成 30 年 11 月 6 日～平成 30 年 11 月 7 日
調査目的又は 研修会等の名称	行政視察
場 所	石川県金沢市・財団法人「大和文華館」奈良市
出 席 者	弘毅会 4 名
報告事項	
別紙のとおり	
<p>上記のとおり報告いたします。</p> <p style="text-align: right;">平成 30 年 11 月 20 日</p> <p>栃木市議会議長 大阿久 岩人 様</p> <p style="text-align: right;">会派名 弘毅会</p> <p style="text-align: right;">代 表 永田武志</p> <p style="text-align: right;">報告者 梅澤米満</p>	

報告事項
視察
石川県金沢市21世紀美術館
日時 11月6日13時00分より11月6日14時30分まで
○金沢21世紀美術館の目指すもの
・「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの創設」
・ミュージアムとまちとの共生により、新しい金沢の魅力を創設する。
○金沢21世紀美術館
・世界の「現在（いま）」とともに生きる美術館
世界の同時代の美術表現に市民とともに立ち会う場の役割を果たす。
・まちに生き、市民とつくる、参画交流型の美術館
教育、創造、エンターテインメント、コミュニケーションの場など、
新たな「まちの広場」としての役割を期待
・地域の伝統を未来につなげ、世界に開く美術館
工芸をはじめとする金沢の固有文化が多様化する21世紀にどのような可能性を持つのか、異文化交流の視点に立って問いかける実験の場
・子どもたちとともに、成長する美術館
未来の文化を作り出す子どもたちに、芸術・文化の開かれた教室として、「見て」「触れて」「体験できる」最適な環境を提供
○館内の構造
館内は、展示会ゾーンと交流ゾーンで構成され、年間を通して多彩なプログラムを実施している。
(所感)
金沢21世紀美術館は、美術館としては驚異的とも言われる年間170万人を超える来館者数を誇っていたが、北陸新幹線の開通に伴い2017年度には230万人を超える来館者数となっている。交通網の発展もあるが、体験できる展示を行っている同美術館では、楽しく学べる仕組みがたくさんあり、また、色彩も表現豊か

な作りとなっている。学校と連携して、子どもたちを受け入れる教育プログラムも充実しており、美術の鑑賞やアートスクールなども実施しており、教育の発展に寄与している。休日にも「まるびい・すくすくステーション」などの未就学児の親子でひと休みできるプログラムも実施しており、子育て世代が気兼ねなく訪れることができる美術館となっている。

美術館としての機能と子育ての拠点としての機能を有している美術館であるからこそ、新たな発見を提供することができる新しい美術館として、多くの市民や観光客に受け入れられている要因になっているのではないかと感じた。

Blank lined area for additional text.

報告事項
視察
財団法人「大和文藝館」(奈良市)
日時 11月7日9時30分より11月7日11時30分まで
○概要
大和文藝館では子どもから大人まで広く東洋の古美術に親しんでもらい、「生の作品から受ける感動」を味わってもらうため、
・小学生から高校生を対象とした鑑賞教育、団体来館
・大学の見学実習
・大学の博物館実習
の受け入れを行っている。
自然と一体になって美術館、人生の教室としての美術館
○子どもたちの意見を大切にしている
・子どもたちからの意見を、アンケートから収集し、子どもたちが楽しく学べる環境づくりをしている。クイズ形式の説明や焼き物の歴史や物語、模様の中に魚や鳥などが潜んでいることへの発見などの、子どもたちの感受性を高める展示や説明を行っていた。
○教育・普及活動
・こちらの美術館も子どもたちへの教育プログラムを実施していた。東洋美術という難しいコンセプトの美術館であるが、子どもたちの感受性を豊かにするプログラムに力を入れていた。
○展示会の開催について
展示開催については、平常展と特別展について入館料に違いを出している。また、無料招待デーを設定し、小中学生は全日無料としている。

(所感)

大和文庫館の視察にあたり、同館の浅野先生については、栃木市の栃木市文化芸術施設等整備検討審議会の会長を務めていただいている。館内を案内していただく前に、1時間程度お話をお聞きしたが、美術館の運営については、99.5%で赤字運営になり財政出動は必須であるとの見解であった。栃木市の美術館の運営コストを検討することはもちろんであるが、教育的見地からも美術館のあり方について検討をすることが必要である。また、観光施設、子育て施設としての機能も有することで、地域活性を主とした歳入につながることも考えられることから、ただの美術館としてではなく、目に見えない価値についても検討するべきであると感じた。未来の栃木市を担う子どもたちへの感受性を育てる教育を提供できる美術館を目指すとともに、市民が活用し、新たなコミュニティ、活動の拠点となるような美術館を目指し、歳入と教育的価値、地域の活性化を高められる美術館の創設が栃木市においては必要であろうと考える。

## 視察研修・研修会等報告書

年 月 日	平成30年11月6日(火)～平成30年11月7日(水)
調査目的又は 研修会等の名称	「金沢21世紀美術館の運営」 「大和文華館の運営」
場 所	石川県金沢市「金沢21世紀美術館」 奈良県奈良市「大和文華館」
出 席 者	永田武志 梅沢米満 針谷正夫 中島克訓

### 報告事項

#### ①11月6日(火) 「金沢21世紀美術館」の運営

##### 1. 概要

石川県金沢市(人口45万人)にあり、現代美術を収蔵している。愛称は「まるびい」(由来は「丸い美術館」)であるが、「21美(にじゅういちび)」と呼ばれることが多い。

【美術館の目的と方針】 まちと共に成長し、「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの創出」に資する。

##### (市の施策における位置づけ)

- ・金沢の都市の魅力を高めて世界に向かって文化を発信
- ・歴史性と現代性の対比を実現し新たなまちづくりを推進

##### (4つのミッション)

- ◎世界の「現在(今)」とともに生きる美術館
- ◎街に活き、市民とつくる、参画交流型の美術館
- ◎地域の伝統を未来につなげ、世界に開く美術館
- ◎子どもたちとともに、成長する美術館

##### 【開館までの沿革】

- 平成8年(1996) 美術館等構想懇話会(委員10人)を発足
- 平成9年(1997) 美術館等基本構想の策定
- 平成11年(1999) 基本設計に着手
- 平成12年(2000) 実施設計に着手

平成 13 年 (2001) 金沢 21 世紀美術館の名称を総務常任委員会へ報告  
実施設計完了

平成 14 年 (2002) 起工式

平成 16 年 (2004) 6 月 美術館本体工事完成  
10 月 オープン

【建設地】中学校・小学校・幼稚園の跡地に 2004 年 10 月にオープンした。建設地は金沢城、兼六園に隣接し、中心商業地にも近く繁華街の香林坊や片町からも徒歩圏内にある。周囲の文化施設と共に文化ゾーンを形成している。

【建物とその特徴】敷地面積は約 2 万 7 千㎡ (約 8200 坪)、延床面積は約 1 万 7 千㎡ (約 5100 坪) であり、円形の建物の外周は 350m で、壁面は、122 枚 (厚さ 4cm のペアガラス) のガラス仕様になっている  
ベネチア・ビエンナーレ国際建築展展示部門「金獅子賞」受賞  
特徴は・入口が 4 か所 (表と裏のないアートサークル)  
・入口がいないフリーゾーンの設置

【事業費】全体事業費 約 20.0 億円  
(建築費 約 11.3 億円 用地費 約 7.8 億円 ほか)

## 2、現代美術を選択した理由

金沢は歴史・伝統を尊重したまちづくりを推進してきた中、現代美術館を設置する意見に伝統にこだわるべきとの意見もあった。しかし、伝統とは単に過去の形式を踏襲するのみではなく、「革新の営み」により新たな価値を創造するものとの考えから現代美術を選択することとなった。

## 3、運営状況について

【自主事業】① 展覧会開催事業

② 教育普及・生涯学習基盤整備事業

③ 地域文化活性化支援事業

④ その他

【貸館事業】① 展覧会や作品の創作活動を行っている市民等の発表の場

② 音楽・演劇などの公演、ワークショップ、映画上映、文化芸術に関する講演会で利用

③ 加賀藩前田家ゆかりの茶室を移築、伝統の美と現代の美との融合

【地域等との連携】

- ①周辺商店等との連携
- ②ミュージアム・グッズの開発
- ③美術工芸大学・卯辰山工房工芸との連携

#### 4、教育プログラムについて

##### 【ミュージアム・クルーズ】

金沢市内の小学4年生を対象に無料招待、アートバス（「21美」の収蔵画家のデザインしたバス）の無料送迎が可。

##### 【中学生まるびいアートスクールプロジェクト】

アーティスト・学校・金沢21世紀美術館が協力して課外活動の形態で中学生による美術鑑賞・制作のワークショップを行う。

#### 5、活動状況

【入館者数】北陸新幹線開業（H27.3.14）後、大幅に増加

28年度約254万人      29年度 約237万人

【広報件数】新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等の広報件数 年間約900件

【サスティン会員（法人サポーター）】

115社（会費 1口5万円）

【友の会会員（個人ファンクラブ）】

約2000人

#### 6、平成30年度予算（利用料金制度導入初年度）

##### 《支出》

約8億9千万円

人件費 2.5億円

施設管理費 3.6億円

事業費 2.8億円

##### 《収入》

約8億9千万円

市指定管理料 4.3億円

物販等収入 0.5億円

利用料金収入 4.1億円

【所感】金沢21世紀美術館（以下、一般的な「21美」と記述）は兼六園の目と鼻の先にあり、大勢の来場者で賑わっていた。しかも若者が多かった。外部は芝生が張り巡らされ、そこには大人も楽しめる芸術的オブジェが配置され、また屋根の上にはヤン・ファール氏の「雲を測る男」のブロンズ像が設置されていて、飽きさせない。屋内にはマスコミでも有名な不思議なレアンドロ・エルリッヒ氏の「スイミング・プール」が俄然人気があり、人だかりであった。円形総ガラス張りの「21美」は、外部から見る光景も内部から見る外部風



景も共に楽しむことができた。この部分は内外無料である。ただ、有料である展示室の現代アートはほとんど理解することができなかつた。芸術は「理解ではなく感じることだ」というが「わからないと感じた。」というのが本当のところか。

ただ、無料だが、ジェームズ・タレル氏の「ブルー・プラネット・スカイ」(通称「タレルの部屋」)は、約10m四方の部屋から四角に切り取られた天井の遠くに空を見ることができる、独特の空間でありお気に入りとなった。

総じて美術館というより、文化の匂いのするアミューズメントか。これが「21美」の狙いだったとすればうまく罫にはまったということかもしれない。

2004年10月開館から1年間で157万人を集めたという驚異的な数字は北陸新幹線開業(H27.3.14)により、28年度254万人、29年度約237万人とさらに大幅に増加した。

研修時の説明では、経済波及効果100億円ということであった。

これだけの驚異的な数の集客の要因は何か。

大きな要因の一つは「楽しいから」と考える。自分自身に照らせば、現在もなぜかわからないが、また訪れたい、人に話したいのである。「雲を測る男」のブロンズ像が妙に気になり、「タレルの部屋」から見た青空が思い出せるのである。

調査した「4つのミッション」が大いにその根本要因となっていると考える。1、世界の「現在(今)」とともに、2、街に生き、市民とつくる、3、地域の伝統を未来に、4、子どもたちとともに、成長する美術館なのである。

「かっぱう着姿の金沢のおかみさんが、近江町市場(金沢の中心街にある市場)の帰りに、買い物袋をもって立ち寄ることができる美術館」(前金沢市長の弁)であり、雨が降ると兼六園の入場者が雨宿りにくることがあり、トイレのみの利用も可能というサービス精神もある。

本市美術館も敷居の低い運営、取り組みを推進していくべきである。

本市の美術館建設もまもなく始まる。今回の「金沢21世紀美術館」の視察で学んだ良いところを栃木市版としてどう取り込めるか、参考にしていきたい。

## ②11月7日(水) 「大和文華館」の運営について

### 1、概要

大和文華館は昭和21年(1946)近畿日本鉄道株式会社(近鉄)の社長種田寅雄(おいたとらお)の肝いりで、国内外に日本・東洋の文化を紹介できる施設の必要から、14年間にわたり準備をすすめた。昭和35年(1960)近鉄50周年事業の一つとして学園前菅原池(通称蛙股池 かえるまたいけ)の丘陵地に本館が建設された。昭和60年(1985)には辰野金吾設計の奈良ホテルのラウンジの一部が移築され文華ホールと名付けられた。

初代館長矢代幸雄は（1890～1975）美術館開設準備から携わり、世界的視野から日本・東洋の美を代表する名品を蒐集し、それらは現在も所蔵品の中核になっている。矢代の「美術は人類的現象である。その本質は世界性にある。」との思いは今も大和文華館に引き継がれている。

## 2、特色

美術館の周囲を文華苑と呼ばれる自然園に囲まれている。テラスからは春日山や平城京を眺めることができ、自然一体になった展示環境である。所蔵品は東洋古美術の名品約 2000 点であり、なかには「婦女遊楽図屏風」などの国宝 4 点もある。朝鮮半島・中国などの作品と日本の作品を見比べることができるのも特徴のひとつである。矢代幸雄の「東洋の美術は自然の額縁の中において一番美しく見える」との理念が活かされている。

美術作品の展観とともに研究を重視し、昭和 26 年から美術研究誌『大和文華』を刊行して国内外から高い評価を得ている。

## 3、普及活動

\*子どもから大人まで東洋の古美術に親しんでもらい、「生の作品から受ける感動」を味わってもらうため、

- ・小学生から高校生を対象とした鑑賞教育、団体来館
- ・大学の見学実習
- ・大学の博物館実習

の受け入れを行っている。

\*日曜美術講座（年 7 回）

\*特別展（年 1～2 回 会期中の講演会）

## 4、入館者の推移

開館 50 周年の H23 年から現在まで H27 年を除き、開館以後のピーク時とほぼ同数の入館者 45000 人前後を維持している。

【所感】大和文華館は前日の「21 美術館」とは対照的に、前述したような自然豊かな静寂な雰囲気の中で作品を味わうといった伝統的な美術館であった。この美術館設立の趣旨がオーナーや初代館長の「日本・東洋の文化を紹介できる施設が必要だ」ということからすれば当然かもしれない。文化の普及・研究に力点を置く本格派の美術館であると理解した。

その環境下でこれだけの入場者数を確保しているのも素晴らしい。オーナーは鉄道会社（近鉄）であり、近鉄沿線無料招待デーを年 3 回実施している。また、美術館周囲の文華苑のささゆり、うめ、さくらの季節に合わせても（5 月、2 月、3 月）無料招待デーを企画している（29 年度）。持てる資源を組み合わせた有効活用である。

栃木市の「文化芸術館」の基本構想は、「とちぎの歴史・文化芸術を皆で楽しみ・広め・創る拠点」であり、楽しむ要素が入っている。多くの来館者数を確保するには、一般の人でも楽しいと感じることのできる仕掛け、運営が必要だ。そして文化芸術の普及活動はいうまでもない。「21 美の」楽しさ、「大和文華館」の重厚さ。相当の知恵が必要だが、考えてみたい。

「大和文華館」の館長は本市文化芸術施設等整備検討審議会の会長である。大阪の「あべのハルカス美術館」の館長でもある。

美術館運営についてたくさんのご教示をいただいた。全国の公立美術館運営の実態・課題についてもたくさんのお話を聞くことができた。公立美術館で収支が黒字のところは全国に一つもないという。でも自治体は可能であれば、文化・芸術を広く社会に展覧し、普及し教育する責務があるだろう。また郷土の文化をしっかりと後世に伝えることも必要である。

浅野氏が言った。「議員の皆さんも含め、美術館を作るのであればしっかりと覚悟を決めることだ。覚悟はあるか。」

2 日間の長距離の強行軍であったが、目前の課題を抱えての研修であり、大変参考になるところが多かった。建設されてくる文化芸術館運営に活かしていきたい。

視察先の選定については議会事務局よりたくさんのお情報等いただき、大変参考になった。良いところを視察、調査することができた。感謝申し上げたい。

上記のとおり報告いたします。

平成 31 年 1 月 10 日

栃木市議会議長 大阿久 岩人 様

会派名 弘毅会

代表 永田 武志

報告者 針谷 正夫

# 視察研修報告書

栃木市議会議員 中島克訓

日時 平成30年11月6日～7日

研修地 石川県金沢市 金沢21世紀美術館  
奈良県奈良市 大和文華館

参加者 永田武志 梅沢米満 針谷正男 中島克訓

## 金沢21世紀美術館

現代美術を収蔵した美術館。もと金沢大学付属中学校・小学校・幼稚園があった場所に2004年10月に開館した。観光客の多く立ち寄る兼六園の斜め向かいに当たり、金沢城を復元中の金沢城公園の入り口からも近い。繁華街の香林坊や片町からも徒歩圏内にある、市の中心部に立地した都心型の美術館。周囲には金沢能楽美術館、石川近代文学館、石川県立美術館、石川県立歴史博物館などテーマの異なる芸術関連施設があり、文化ゾーンを形成している。維持費に当たり年間12億円の県税が使用されている。

建物は地上1階、地下1階建て。芝生の敷地中央にあり、円形総ガラス張りで正面といえる面がなく、逆に言えばすべてが正面といえる。兼六園方面、香林坊方面、柿木島方面などの方向からも入場できる上に、無料入場できる範囲を広く取っており、多数の作品を無料で鑑賞することが出来る。

また、外壁同様各所にガラスが多用されているため、館内の見通しが非常に利く。中央の有料エリアからも建物外部の公園や道路を見ることが出来るため、開放的である。無料エリアの1階と地下1階には市民ギャラリーがあり、市内の芸術団体や学校の展覧会、新聞社主催の展覧会などに貸し出されている。また地下1階には劇場や来館者用駐車場、作品搬入口や収蔵庫など美術館の裏方となるスペースが広がっている。

建設に当たり、各地で地方公共団体の財政難や公立美術館の赤字が問題になる中、当初金沢でも市立の美術館を新しく作ることに對し厳しい目が注がれていた。企画立案は、こうした市民との討論から始まった。同時代の美術を世界から収集し、金沢の工芸やデザインに刺激を与え活性化し、新しいものを生み出す土壌を育成するという新美術館の方針や効果は徐々に理解を得ていった。また収蔵品は1990年代半ばから収集が始められ、その一部は金沢市民芸術村や市内の学校、商店街などでプレオープン事業として公開され、シンポジウムやワークショップも多数開催された。これらは、市民の間に新しい美術館やその収蔵品、活動に對し理解を得るためのものであった。開館後も児童・学生や団体客に對する鑑賞教育活動は引き続き盛んにおこなわれている。

開館後の第一回展は収蔵品等を一堂に集めた展覧会のほか、無料ゾーンの市民ギャラリー

一で印象派以降現代に至る名品展が同時開催され、多くの観客を集めることに成功した。また市内の小中学生に対する無料招待は、後日家族連れで再来館するという効果を得た。公立美術館冬の時代と言われ、「ここがコケたら今後50年間は冬の時代が続く」と、各地の美術館から入場者の推移が注目されたが、開館から1年間で地方都市の公立美術館としては驚異的な157万人もの入館者を集めた。平成18年8月に入場者数250万人を突破した。2011年8月入館者が1000万人を突破しセレモニーが行われた。

## 大和文華館

昭和21年、近畿日本鉄道社長であった種田虎雄は、財団法人大和文華館を設立した。京都、奈良、伊勢という日本の文化の中心地を結ぶ鉄道会社に相応しい美術の殿堂をつくろうと考えた種田は、世界的な美術史学者・矢代幸雄を初代館長に任命し、その仕事を依頼した。学者である矢代は、個人の好みではなく、質の高い作品を系統的に収集することに尽力した。そのため収蔵総数は約2000点と、美術館としては多いとは言い難いが、収集した作品には国宝4件、重要文化財31件、重要美術品14件を含んでいる。

昭和35年10月1日、近鉄の創立50周年行事の一環として大和文華館が開館した。日本の私立美術館の多くが、実業家、大名家などの大コレクションを母体になっているのに対し、大和文華館の場合は、最初に美術館設立の構想があり、コレクションは後から形成された点がユニークである。矢代はこのことを「美のための美術館」と呼び、所蔵品は観賞価値を第一にした名品が集められた。個人の嗜好によらず、ある時代や地域の美意識を代表する名品が、偏りなくまんべんなく集められていることが大和文華館の特徴の一つである。

## 所感

金沢21世紀美術館は、日本で唯一黒字を出している美術館ということで今回視察をさせていただきました。現代美術に特化した作品を展示しているらしく、斬新で今までにないイメージの美術作品を目のあたりにして驚いたのは私だけではなかったと思います。正直な話、自分には理解しがたい作品もありましたが、これが現代美術というものだなと考えさせられる面もありました。美術館周りの庭にも遊び心が施してあり、伝声管が庭の地下に埋設されていました。ここは金沢城にも近く、美術館を見学に来るといふ人も多いでしょうが金沢城との相乗効果もあるのではないのでしょうか。

大和文華館では、金沢21世紀美術館とは真逆のこれまでの美術館といういい意味での雰囲気醸し出している落ち着いた美術館でした。拝観者も疎らで静かな雰囲気の中で美術鑑賞が出来ます。館長さんの話の中で、一番先に言われたのが「栃木市は美術館をつくるにあたって、覚悟はできていますか。」という言葉でした。美術館経営で黒字を出すということは不可能に近い。赤字を埋めるために税金の投入も仕方ない、それを栃木市では覚悟

はできているのですかという意味だと出席者は理解しました。また「美術館経営には美術館同士のネットワークが必要です。」ともいわれました。市が独自で保有している絵画等だけでは企画展などできない、他の美術館が所有している作品を貸し借りしながら企画展を開催するのだとも言っていました。しかし、そこには展示場の面積や、温度や湿度の管理ができる設備がしっかりしてある美術館なのかがカギになるわけです。本市が建設する美術館はこのようなことは事前に研究はしていると思いますが、我々も注意深く見詰めていきたいと思いました。

別記様式第2号 (第3条関係)

政務活動費実績報告書

金額 103,882 円

平成31年3月29日

会派代表者 永田 武志

支出項目	資料購入費
内 訳	<p>①日本教育新聞 H30.6月～11月@2,700×6ヶ月=16,200円(永田)</p> <p>②日本経済新聞 H30.7月～H31.3月@2,660×1ヶ月=2,660円 H30.7月～H31.3月@4,000×8ヶ月=32,000円 計 34,660円(梅澤)</p> <p>③下野新聞 H30.5月～H31.2月@3,035×10ヶ月=30,350円 H31.3月@3,350×1ヶ月=3,350円 計 33,700円(針谷)</p> <p>④農業新聞 H30.5月～H31.3月@700×11ヶ月=7,700円(針谷)</p> <p>⑤月刊「ガバナンス」@1,026×11ヶ月=11,286円(針谷)</p> <p>⑥「栃木県市町村要覧(H30年度版) 336円(針谷)</p>
事 由	調査研究のため
債 権 者 住所・氏名	<p>①(株)日本教育新聞社 東京都港区虎ノ門1-2-8</p> <p>②YC読売センター藤岡 栃木市藤岡町2605-1</p> <p>③YC栃木北部 栃木市箱森町25-54</p> <p>④栃木市農業委員会 栃木市万町9-25</p> <p>⑤(株)ぎょうせい 東京都江東区新木場1-18-11</p> <p>⑥栃木県地方自治研究会 宇都宮市塙田1-1-20</p>

(様式第5号)

### 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
日本教育新聞 @2,700×6 か月分=16,200円 (平成30年6月~11月分) 永田			

### 請 求 書

2018年 6月 12日

永田 武志

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。  
 下記の通りご請求申し上げます。  
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長 幹長

東京都港区虎ノ門5-21-8

電話 03 (5564) 7747

《お支払い先》

- ・振替払込
- ・銀行振込

・口座名義

合計請求額	16,200 円	読者コード	[REDACTED]	請求書番号	0004109977
-------	----------	-------	------------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				円	
今回入金額				円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2018/06-2018/11
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2018/06-2018/11

### 払込金受入票 (振込依頼書)

### 振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)

各票の記載事項に間違いのないことを確かめください。

口座記号	[REDACTED]
加入者名	日本教育新聞社
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 1 6 2 0 0
振込先	銀行 支店
おとこま	515644
ご依頼人	永田 武志
料 金	日 附 印 18.6.16
備 考	

(店控)

CVSご利用の場合は取扱店舗保管

この受領証は、大切に保管してください。  
切り取らないでください。

口座記号	[REDACTED]
加入者名	日本教育新聞社
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 1 6 2 0 0
振込先	銀行 支店
おとこま	515644
ご依頼人	永田 武志
料 金	日 附 印 18.6.16
備 考	

(お客様控)

(ゆうちょ銀行)

CVS収納用収入印紙貼付欄

(お客様控)



(様式第5号)

### 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
-------	-----	-----	-------

問合せNo. 2011 3(3)区 538 番 領収証 30 06 年 月分  
新757-1

永田 武志 様

銘 柄	部数	金 額
下野新聞	1	¥ 3,035

合計金額  
**¥ 3,035**

ご愛読ありがとうございます。  
上記の金額を領収致しました。  
金額には消費税が含まれています。  
30. 6. 25 日

有限会社 竹村新聞 店  
栃木店 Tel 0282-22-0081  
真岡店 Tel 0285-83-7959

お客様へ

毎度、ご愛読有難う御座います。

問合せNo. 2011 3(3)区 524 番 領収証 30 07 年 月分  
新757-1

永田 武志 様

銘 柄	部数	金 額
下野新聞	1	¥ 3,035

合計金額  
**¥ 3,035**

ご愛読ありがとうございます。  
上記の金額を領収致しました。  
金額には消費税が含まれています。  
30. 7. 25 日

有限会社 竹村新聞 店  
栃木店 Tel 0282-22-0081  
真岡店 Tel 0285-83-7959

お客様へ

毎度、ご愛読有難う御座います。

問合せNo. 2011 3(3)区 519 番 領収証 30 08 年 月分  
新757-1

永田 武志 様

銘 柄	部数	金 額
下野新聞	1	¥ 3,035

合計金額  
**¥ 3,035**

ご愛読ありがとうございます。  
上記の金額を領収致しました。  
金額には消費税が含まれています。  
30. 8. 26 日

有限会社 竹村新聞 店  
栃木店 Tel 0282-22-0081  
真岡店 Tel 0285-83-7959

お客様へ

毎度、ご愛読有難う御座います。

◎新聞代 (マニュアルより抜粋)

日刊新聞の購読料は、1紙目は自費とする。政務活動に必要な新聞であれば、日刊新聞又は専門紙のどちらでも、2紙目から3紙目を政務活動費の対象とし、1紙目の領収書も併せて添付する。

ただし、議員の職業に関わる新聞は対象外とする。(例：工業新聞・教育新聞・農業新聞)

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
-------	-----	-----	-------

問合せNo. 2011 3(3)区 521 番 領収証 30年 09月分  
新757-1

永田 武志 様

銘 柄	部数	金 額
下野新聞	1	¥ 3,035

合計金額  
**¥ 3,035**

ご愛読ありがとうございます。  
上記の金額を領収致しました。  
金額には消費税が含まれています。  
30. 9. 28 日

お客様へ

毎度、ご愛読有難う御座います。

有限会社 竹村新聞 店  
栃木店 Tel 0282-22-0081  
真岡店 Tel 0285-83-7959

問合せNo. 2011 3(3)区 525 番 領収証 30年 10月分  
新757-1

永田 武志 様

銘 柄	部数	金 額
下野新聞	1	¥ 3,035

合計金額  
**¥ 3,035**

ご愛読ありがとうございます。  
上記の金額を領収致しました。  
金額には消費税が含まれています。  
30. 10. 26 日

お客様へ

毎度、ご愛読有難う御座います。

有限会社 竹村新聞 店  
栃木店 Tel 0282-22-0081  
真岡店 Tel 0285-83-7959

問合せNo. 2011 3(3)区 528 番 領収証 30年 11月分  
新757-1

永田 武志 様

銘 柄	部数	金 額
下野新聞	1	¥ 3,035

合計金額  
**¥ 3,035**

ご愛読ありがとうございます。  
上記の金額を領収致しました。  
金額には消費税が含まれています。  
30. 11. 27 日

お客様へ

毎度、ご愛読有難う御座います。

有限会社 竹村新聞 店  
栃木店 Tel 0282-22-0081  
真岡店 Tel 0285-83-7959

# 新聞購読料領収済証明書

梅澤 米満 様

平成 30 年 7 月分 日経新聞購読料 2,660 円

お支払いいただいていることを証明致します。

平成 30 年 7 月 25 日

栃木県栃木市藤岡町藤岡 2605-1

読売センター藤岡 所長 東 靖雄

TEL : 0282-62-2708

FAX : 0282-62-3416

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘 毅 会	科 目	資料購入費
-------	-------	-----	-------

読売新聞 領収書 区域 006 全戸 0090 お問合せNo. [REDACTED]

お名前 梅沢 米満 様  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

30年 8月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額	左記の通り領収しました
1 日本経済新聞統合	1	4,000	
2			
3			

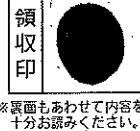
合 計 4,000円 領収日 30年 8月 26日  
クック

よみ得商品のご注文は、現在新聞購読中のみ申し込み可能です

購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

読売センター 藤岡

栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

読売新聞 領収書 区域 01 全戸 0092 お問合せNo. [REDACTED]

お名前 梅沢 米満 様  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

30年 9月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額	左記の通り領収しました
1 日本経済新聞統合	1	4,000	
2			
3			

合 計 4,000円 領収日 30年 9月 28日  
クック

よみ得商品のご注文は、現在新聞購読中のみ申し込み可能です

購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

読売センター 藤岡

栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名 弘毅会	科 目	資料購入費
-----------	-----	-------

**読売新聞 領収書** 区域006 全戸0092 お問合せNo. [REDACTED]

お名前 **梅沢 米満 様**  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

30年 10月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額
1 日本経済新聞統合	1	4,000
2		
3		
合 計		4,000 円

クック 領収日 30.10.26 年 月 日  
購読を止められますとポイントは  
利用できません ご了承下さい

購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

**読売センター 藤岡**  
栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208

領収印

\*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

**読売新聞 領収書** 区域006 全戸0091 お問合せNo. [REDACTED]

お名前 **梅沢 米満 様**  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

30年 11月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額
1 日本経済新聞統合	1	4,000
2		
3		
合 計		4,000 円

クック 領収日 30.11.27 日  
12月集金は15日頃からお伺い  
致しますので、お願い致します。

購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

**読売センター 藤岡**  
栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208

領収印

\*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

**読売新聞 領収書** 区域006 全戸0091 お問合せNo. [REDACTED]

お名前 **梅沢 米満 様**  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

30年 12月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額
1 日本経済新聞統合	1	4,000
2		
3		
合 計		4,000 円

クック 領収日 30.12.26 年 月 日  
今年も有難うございました。20  
19年も宜しくお願い致します。

購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

**読売センター 藤岡**  
栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208



領収印

\*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

(様式第5号)

# 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
-------	-----	-----	-------

 **読売新聞 領収書** 区域 006 全戸0091 お問合せNo. 

お名前 **梅沢 米満 様**  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

31年 1月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額
1 日本経済新聞統合	1	4,000
2		
3		
合 計		4,000 円

クック

◇左記の通り領収しました

領収日 **31年 1月 25日**  
トレジャーハンタークラブの申し込みは1年間購読が原則です。



購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

 **読売センター藤岡**

栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208

領収印

※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

 **読売新聞 領収書** 区域 006 全戸0091 お問合せNo. 

お名前 **梅沢 米満 様**  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

31年 2月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額
1 日本経済新聞統合	1	4,000
2		
3		
合 計		4,000 円

クック

◇左記の通り領収しました

領収日 **31年 2月 25日**  
1100ポイント以下のよみ得商品交換は2月28日が最後です



購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

 **読売センター藤岡**

栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208

領収印

※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

 **読売新聞 領収書** 区域 006 全戸0091 お問合せNo. 

お名前 **梅沢 米満 様**  
藤岡町大田和285 TEL62-3776

31年 3月分 ご利用可能ポイント 0

銘 柄	部 数	金 額
1 日本経済新聞統合	1	4,000
2		
3		
合 計		4,000 円

クック

◇左記の通り領収しました

領収日 **31年 3月 28日**  
☆住所・氏名等変更がありましたら、ご連絡ください。☆

購読を一度中止されますとポイントが0に戻ります。ご了承下さい。

 **読売センター藤岡**

栃木県栃木市藤岡町藤岡2605-1  
電話 0282-62-2208

領収印

※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

(様式第5号)

### 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
-------	-----	-----	-------

2018年 7月分 領収証  
**梅沢 米満 様**

№ 00004319-201807-1



銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金 額
下野新聞	(2,810)	(225)	1	3,035

藤岡町大田和285

合 計 金 額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
 今後とも宜しく願っています

毎度ご購入有難うございます。  
 上記金額正に領収致しました。

30. 7. 25 日 領収

取 扱 新 聞

朝日新聞	日刊スポーツ
毎日新聞	スポーツニッポン
東京新聞	東京中日スポーツ
日経新聞	埼玉新聞
下野新聞	上毛新聞

**黒川新聞店**

栃木市藤岡町藤岡1410  
 TEL.0282-62-2237  
 北川辺 TEL.0280-62-0575

領収印



2018年 8月分 領収証  
**梅沢 米満 様**

発証No. 00004319-201808-1



銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金 額
下野新聞	(2,810)	(225)	1	3,035

藤岡町大田和285

合 計 金 額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
 今後とも宜しく願っています

毎度ご購入有難うございます。  
 上記金額正に領収致しました。

30. 8. 26 日 領収

取 扱 新 聞

朝日新聞	日刊スポーツ
毎日新聞	スポーツニッポン
東京新聞	東京中日スポーツ
日経新聞	埼玉新聞
下野新聞	上毛新聞

**黒川新聞店**

栃木市藤岡町藤岡1410  
 TEL.0282-62-2237  
 北川辺 TEL.0280-62-0575

領収印



2018年 9月分 領収証  
**梅沢 米満 様**

00004319-201809-1



銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金 額
下野新聞	(2,810)	(225)	1	3,035

藤岡町大田和285

合 計 金 額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
 今後とも宜しく願っています

毎度ご購入有難うございます。  
 上記金額正に領収致しました。

30. 9. 28 日 領収

取 扱 新 聞

朝日新聞	日刊スポーツ
毎日新聞	スポーツニッポン
東京新聞	東京中日スポーツ
日経新聞	埼玉新聞
下野新聞	上毛新聞

**黒川新聞店**

栃木市藤岡町藤岡1410  
 TEL.0282-62-2237  
 北川辺 TEL.0280-62-0575

領収印



(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名 弘毅会	科 目 資料購入費
-----------	-----------

**2018年10月分 領収書**

**梅沢 米満 様**

銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金額
下野新聞	(2,810)	(225)	1	3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
今後とも宜しくお願いいたします

取 扱 新 聞

朝日新聞	日刊スポーツ
毎日新聞	スポーツニッポン
東京新聞	東京中日スポーツ
日経新聞	埼玉新聞
下野新聞	上毛新聞

No. 00004319-201810-1

藤岡町大田和285

合 計 金 額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入有難うございます。  
上記金額正に領収致しました。

30.10.26 領収

年 月 日 領収

**黒川新聞店** 領収印

〒[REDACTED]  
栃木市藤岡町藤岡1410  
TEL.0282-62-2237  
北川辺 TEL.0280-62-0575

**2018年11月分 領収書**

**梅沢 米満 様**

銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金額
下野新聞	(2,810)	(225)	1	3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
今後とも宜しくお願いいたします

取 扱 新 聞

朝日新聞	日刊スポーツ
毎日新聞	スポーツニッポン
東京新聞	東京中日スポーツ
日経新聞	埼玉新聞
下野新聞	上毛新聞

発証No. 00004319-201811-1

藤岡町大田和285

合 計 金 額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入有難うございます。  
上記金額正に領収致しました。

30.11.27 領収

年 月 日 領収

**黒川新聞店** 領収印

〒[REDACTED]  
栃木市藤岡町藤岡1410  
TEL.0282-62-2237  
北川辺 TEL.0280-62-0575

**2018年12月分 領収書**

**梅沢 米満 様**

銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金額
下野新聞	(2,810)	(225)	1	3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
今後とも宜しくお願いいたします

取 扱 新 聞

朝日新聞	日刊スポーツ
毎日新聞	スポーツニッポン
東京新聞	東京中日スポーツ
日経新聞	埼玉新聞
下野新聞	上毛新聞

発証No. 00004319-201812-1

藤岡町大田和285

合 計 金 額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入有難うございます。  
上記金額正に領収致しました。

30.12.26 領収

年 月 日 領収

**黒川新聞店** 領収印

〒[REDACTED]  
栃木市藤岡町藤岡1410  
TEL.0282-62-2237  
北川辺 TEL.0280-62-0575



(様式第5号)

領収書添付票

会派名	弘毅会	科目	資料購入費
-----	-----	----	-------

2019年1月分 領収証 発証No. 00004319-201901-1  
**梅沢 米満 様**



藤岡町大田和285

銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金額
下野新聞	(2,810)	(225)		3,035

合計金額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
 今後とも宜しくお願いいたします

毎度ご購入有難うございます。  
 上記金額正に領収致しました。

31. 1. 25 領収

取扱新聞

朝日新聞 日刊スポーツ  
 毎日新聞 スポーツニッポン  
 東京新聞 東京中日スポーツ  
 日経新聞 埼玉新聞  
 下野新聞 上毛新聞

黒川新聞店

栃木市藤岡町藤岡1410  
 TEL.0282-62-2237  
 北川辺 TEL.0280-62-0575



2019年2月分 領収証 発証No. 00004319-201902-1  
**梅沢 米満 様**



藤岡町大田和285

銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金額
下野新聞	(2,810)	(225)	1	3,035

合計金額	
本体価格	¥2,810
消費税	¥225
税込金額	¥3,035

毎度ご購入ありがとうございます  
 今後とも宜しくお願いいたします

毎度ご購入有難うございます。  
 上記金額正に領収致しました。

31. 2. 25 領収

取扱新聞

朝日新聞 自刊スポーツ  
 毎日新聞 スポーツニッポン  
 東京新聞 東京中日スポーツ  
 日経新聞 埼玉新聞  
 下野新聞 上毛新聞

黒川新聞店

栃木市藤岡町藤岡1410  
 TEL.0282-62-2237  
 北川辺 TEL.0280-62-0575



2019年3月分 領収証 発証No. 00004319-201903-1  
**梅沢 米満 様**



藤岡町大田和285

銘柄	(本体価格)	(消費税)	部数	金額
下野新聞	(3,102)	(248)	1	3,350

合計金額	
本体価格	¥3,102
消費税	¥248
税込金額	¥3,350

毎度ご購入ありがとうございます  
 今後とも宜しくお願いいたします

毎度ご購入有難うございます。  
 上記金額正に領収致しました。

31. 3. 28 領収

取扱新聞

朝日新聞 日刊スポーツ  
 毎日新聞 スポーツニッポン  
 東京新聞 東京中日スポーツ  
 日経新聞 埼玉新聞  
 下野新聞 上毛新聞

黒川新聞店

栃木市藤岡町藤岡1410  
 TEL.0282-62-2237  
 北川辺 TEL.0280-62-0575



(様式第5号)

# 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
-------	-----	-----	-------

YC 金崎 734- 領 収 書  座 振替 お問い合わせNO [REDACTED]

**針谷 正夫** 様

30 年 5 月分 6,128 円 左記のとおり正に領収致  
しました 30 年 5 月 2 日

新 聞 名	部 数	金 額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

Y C 栃木北館 [REDACTED] I

栃木県栃木市箱森町 2 5 - 5 4  
0282-23-8666 区 049 順 388-000 集 集) [REDACTED]

YC 金崎 734-2 領 収 書  座 振替 お問い合わせNO [REDACTED]

**針谷 正夫** 様

30 年 6 月分 6,128 円 左記のとおり正に領収致  
しました 30 年 6 月 2 日

新 聞 名	部 数	金 額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

Y C 栃木北館 [REDACTED] I

栃木県栃木市箱森町 2 5 - 5 4  
0282-23-8666 区 049 順 388-000 集 集) [REDACTED]

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘 毅 会	科 目	その他の経費
-------	-------	-----	--------

**領 収 書**

金崎 734-2 口座振替 お問い合わせNO

**針谷 正夫** 様

30年 7月分 6,128 円 左記のとおり正に領収致  
しました。30.7.25日

新聞名	部数	金額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

Y C 栃木北部

栃木県栃木市箱森町25-54 区 049 順 388-000 集 臨:

**領 収 書**

金崎 734-2 口座振替 お問い合わせNO

**針谷 正夫** 様

30年 8月分 6,128 円 左記のとおり正に領収致  
しました。30.8.26日

新聞名	部数	金額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

Y C 栃木北部

栃木県栃木市箱森町25-54 区 049 順 388-000 集 臨:

**領 収 書**

金崎 734-2 口座振替 お問い合わせNO

**針谷 正夫** 様

30年 9月分 6,128 円 左記のとおり正に領収致  
しました。30.9.28日

新聞名	部数	金額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

Y C 栃木北部

栃木県栃木市箱森町25-54 区 049 順 388-000 集 臨:

(様式第5号)

# 領収書添付票

会 派 名 弘毅会	科 目 資料購入費
-----------	-----------

YC 金崎 734-2
領 収 書
口座振替 お問い合わせNO [REDACTED]

## 針谷 正夫 様

30 年 10 月分
6,128 円
左記のとおり正に領収致  
しました 30年10月26日

新 聞 名	部 数	金 額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

YC 栃木北部 [REDACTED] I

栃木県栃木市箱森町25-54  
0282-23-8666 区 049 順 390-000 集 臨: [REDACTED]

YC 金崎 734-2
領 収 書
口座振替 お問い合わせNO [REDACTED]

## 針谷 正夫 様

30 年 11 月分
6,128 円
左記のとおり正に領収致  
しました 30年11月27日

新 聞 名	部 数	金 額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

YC 栃木北部 [REDACTED] I

栃木県栃木市箱森町25-54  
0282-23-8666 区 049 順 390-000 集 臨: [REDACTED]

YC 金崎 734-2
領 収 書
口座振替 お問い合わせNO [REDACTED]

## 針谷 正夫 様

30 年 12 月分
6,128 円
左記のとおり正に領収致  
しました 30年12月26日

新 聞 名	部 数	金 額
読売新聞 統合	1	3,093
下野新聞	1	3,035

YC 栃木北部 [REDACTED] I

栃木県栃木市箱森町25-54  
0282-23-8666 区 049 順 390-000 集 臨: [REDACTED]

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
-------	-----	-----	-------

Y.C. 領 収 書  
 金崎 734-2 口座振替 お問い合わせNO [REDACTED]

**針谷 正夫** 様

31年 1月分 6,435 円 左記のとおり正に領収致しました 31.1.25日

新聞名	部数	金額
読売新聞 統合	1	3,400
下野新聞	1	3,035

Y.C. 栃木北部 [REDACTED] I  
 栃木県栃木市箱森町 25-5 本  
 0282-23-8666 区 049 順 390-000 集 臨: [REDACTED]

Y.C. 領 収 書  
 金崎 734-2 口座振替 お問い合わせNO [REDACTED]

**針谷 正夫** 様

31年 2月分 6,435 円 左記のとおり正に領収致しました 31.2.25日

新聞名	部数	金額
読売新聞 統合	1	3,400
下野新聞	1	3,035

Y.C. 栃木北部 [REDACTED] I  
 栃木県栃木市箱森町 25-5 本  
 0282-23-8666 区 049 順 388-000 集 臨: [REDACTED]

Y.C. 領 収 書  
 金崎 734-2 口座振替 お問い合わせNO [REDACTED]

**針谷 正夫** 様

31年 3月分 6,750 円 左記のとおり正に領収致しました 31.3.28日

新聞名	部数	金額
読売新聞 統合	1	3,400
下野新聞	1	3,350

Y.C. 栃木北部 [REDACTED] I  
 栃木県栃木市箱森町 25-5 本  
 0282-23-8666 区 049 順 388-000 集 臨: [REDACTED]

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘 毅 会	科 目	資料購入費
-------	-------	-----	-------



領 収 書

(西方町金崎 734-2)

針谷 正夫 様

金 8,400 円

但し、全国農業新聞購読料として、上記の金額正に領収しました。

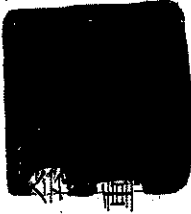
(平成30年12月～平成31年11月分@700×12か月分)

。 H.30年12月～平成31年3月 (@700×4か月分) は H.30年分

平成30年11月6日

。 H.31年4月～平成31年11月

(@700×8か月分) は H.31年分



栃木市農業委員会 会長 大橋 重

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	黎 明	科 目	資料購入費

領 収 書

(西方町金崎 734-2)

針谷 正夫 様

金 8,400 円

但し、全国農業新聞購読料として、上記の金額正に領収しました。

(平成 29 年 12 月～平成 30 年 11 月分 @700×12 か月分)

- ・ 平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月迄  
4 か月分は 平成 29 年度分
- ・ 平成 30 年 4 月～平成 30 年 11 月迄  
8 か月分は 平成 30 年度分

平成 29 年 10 月 27 日

栃木市農業委員会

会 長 大 橋 重

※原本は平成30年4月分にあります。

政務活動費実績報告書

金額 39,030 円

平成31年3月29日

会派代表者氏名 永田武志 (印)

支出項目	その他の経費
内訳	<p>①パソコンのインターネット利用料 (H30.5月～H31.3月分)</p> <p>中島 35,519円×1/6=5,919円 針谷 35,519円×1/6=5,919円</p> <p style="text-align: right;">計 11,838円</p> <p>②タブレット端末通信料 (H30.5月～H31.3月分) (5月分285円、6月分612円、7月分461円 8月分～31.3月分680円) 1人6,798円×4人=27,192円</p>
事由	調査研究活動のため
債権者 住所・氏名	<p>① ケーブルテレビ(株) 栃木市樋ノ口町45-5 代表取締役 高田光浩</p> <p>② 栃木市万町9-25 栃木市長 大川秀子</p>



(様式第5号)

# 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	資料購入費
針谷正夫 月刊「ガバナンス」 平成30年5月～平成31年3月分 @1,026×11ヶ月= <u>11,286円</u>			

## 領 収 証

収  
入  
印  
紙

針谷 正夫 様

東京都江東区新木場1丁目18番11号(〒136-8575)

株式会社きよつぼ

代表取締役 成 吉 弘 次

¥ 12,312.-

30年 4月 26日

領収証番号

180427-3001

取扱者

〔内 訳〕 上記のとおり領収いたしました。金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

品 名	号 数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「ガバナンス」 30年4月号～31年3月号				12312	

※ 本証に、領収証番号及び取扱者印のないときは、その責を負いません。

栃木県市町村要覧 (平成30年度版)

氏名	部数	金額(円)
茂呂健市	1	336
針谷育造	1	336
針谷正夫	1	336
合計	3	1,008

**ご利用明細票**

いつも足利銀行をご利用いただき  
まことにありがとうございます。

お取引日: 30-08-09 | お取引店番: 10140 | 機番: 1T56

お振込み

お取引金額: ¥900

残高: 14:50

ご利用手数料 ¥108

お受取人: [REDACTED]

ご依頼人: トチキ シキ カ1301037様  
0282-21-2503  
おつり ¥0

印紙税申告納  
付につき宇都宮  
\*税務署承認済

1	0	0	0	1	0
1000	100	10	1	10	3

足利銀行

※このご利用明細票は必ずお持ち帰りください。

@ 300.0円 × 3冊 + 振込手数料108円 = 1,008円

(様式第5号)

### 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	その他の経費
自宅用パソコンのインターネット利用料 1人 1/6 充当			
中島 H30.5月～H31.3月分 35,519円×1/6 = <u>5,919円</u>			

## 領 収 証

中島 克訓 様

金額 ¥35,519

但 平成30年5月～平成31年3月  
インターネット接続料として

平成31年3月11日

上記正に領収いたしました

ケーブルテレビ株式会社

〒328-0024 栃木県栃木市園芸町43-1

TEL0282-25-1811/FAX0282-25-3608

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	その他の経費
自宅用パソコンのインターネット利用料 1人 1/6 充当			
針谷 H30.5月～H31.3月分 35,519円×1/6 = <u>5,919円</u>			

領 収 証

針谷 正夫 様

金額 ¥35,519

但 平成30年5月～平成31年3月  
インターネット接続料として

平成31年3月11日

上記正に領収いたしました。

ケーブルテレビ株式会社

〒328-0024 栃木県栃木市


TEL0282-25-1811/FAX0282-25-1811

(様式第5号)

### 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	その他の経費
タブレット端末通信料 5月分 285円(@680×13日/31日) 6月分 612円(@680×27日/30日) 7月分 461円(@680×21日/31日) 8月分~H31.3月分 (@680×8ヶ月=5,440円) <div style="text-align: right;">合計 6,798円</div>			


### 納入通知書兼領収書

平成30年度	通知書番号 6700041890-00-00
納付者	栃木市大平町新757-1 永田武志 様
タブレット端末通信料(弘毅会) 平成30年5月~平成31年3月分	
納付金額	6,798円
納入期限	
所屬	34100000 議会事務局 議事課
会計	01 一般
款	20 諸収入
項	05 雑入
目	04 雑入
節	02 雑入
細節	01 雑入
説明	24 タブレット端末自己負担金等 (議事課)
上記のとおり納付してください。	
栃木市長 大川 秀子	
栃木市	
	収納済印 

65000210580000



### 納入通知書兼領収書

平成30年度	通知書番号 6700041892-00-00
納付者	栃木市藤岡町太田和285 梅澤米満 様
タブレット端末通信料(弘毅会) 平成30年5月~平成31年3月分	
納付金額	6,798円
納入期限	
所屬	34100000 議会事務局 議事課
会計	01 一般
款	20 諸収入
項	05 雑入
目	04 雑入
節	02 雑入
細節	01 雑入
説明	24 タブレット端末自己負担金等 (議事課)
上記のとおり納付してください。	
栃木市長 大川 秀子	
栃木市	
	収納済印 

65000210580000





(様式第5号)

### 領収書添付票

会 派 名	弘毅会	科 目	その他の経費
タブレット端末通信料 5月分 285円(@680×13日/31日) 6月分 612円(@680×27日/30日) 7月分 461円(@680×21日/31日) 8月分~H31.3月分 (@680×8ヶ月=5,440円) <div style="text-align: right;">合計 6,798円</div>			


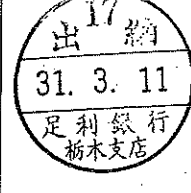
### 納入通知書兼領収書

平成30年度	通知書番号 6700041891-00-00
納付者	栃木市西方町金崎734-2 <b>正木</b> 針谷 登造 様
タブレット端末通信料(弘毅会) 平成30年5月~平成31年3月分	
納付金額	6,798円
納入期限	
所属	34100000 議会事務局 議事課
会計	01 一般
款	20 諸収入
項	05 雑入
目	04 雑入
節	02 雑入
細節	01 雑入
説明	24 タブレット端末自己負担金等 (議事課)
上記のとおり納付してください。	
栃木市長	大川 秀子 
栃木市	
	取納済印 

65000210580000



### 納入通知書兼領収書

平成30年度	通知書番号 6700041893-00-00
納付者	栃木市都賀町合戦場768 中島克訓 様
タブレット端末通信料(弘毅会) 平成30年5月~平成31年3月分	
納付金額	6,798円
納入期限	
所属	34100000 議会事務局 議事課
会計	01 一般
款	20 諸収入
項	05 雑入
目	04 雑入
節	02 雑入
細節	01 雑入
説明	24 タブレット端末自己負担金等 (議事課)
上記のとおり納付してください。	
栃木市長	大川 秀子 
栃木市	
	取納済印 

65000210580000



政務活動費実績報告書

金額 10,344 円

平成31年3月15日

会派代表者氏名 永田武志

支出項目	その他の経費
内 訳	針谷正夫 ①チューブファイル 448 円 ②コピー用紙 1,280 円 ③コピー用紙 1,240 円 ④インク 2,553 円 ⑤インク 2,837 円 ⑥インク 1,986 円 合計 10,344 円
事 由	調査研究活動のため
債 権 者 住所・氏名	①②コメリ都賀店 栃木市都賀町家中1884-1 ③ イオン栃木店 栃木市箱森町37-9 ④ コジマビックカメラ栃木店 栃木市箱森町41-3

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘 毅 会	科 目	その他の経費
-------	-------	-----	--------

針谷正夫

①

領収証

近くて便利の、その先へ



都賀店  
0282-29-1027  
ご来店誠にありがとうございます  
17時から19時45分までの  
夕方アルバイト募集中(高校生も可)  
2018年 5月21日(月)15:20 0315-0002  
0276  
28-3030手紙ファイルA4S S278680B ¥448

小計		¥448
(内消費税)	8%	¥33
商品計		1点

合 計	¥448
お預り	¥500
お釣り	¥52

2P



②

領収証

近くて便利の、その先へ



都賀店  
0282-29-1027  
ご来店誠にありがとうございます  
17時から19時45分までの  
夕方アルバイト募集中(高校生も可)  
2018年 7月 3日(火)17:57 0315-0001  
4126  
28\*北用紙 A4 ¥1,490  
5個 x @298)

まとめ値引BS	1回	-210
---------	----	------

小計		¥1,280
(内消費税)	8%	¥94
商品計		5点

合 計	¥1,280
お預り	¥2,600
お釣り	¥1,320

5P



③



イオン栃木店

TEL0282-22-7711 FAX0282-24-7895  
http://www.aeon.info/

領収証

イオンリテール株式会社

■ポイント残高と有効期限について  
WAONPOINTカードのポイントは  
ポイント残高にかかわらず  
いつでもご利用いただけます  
1WAONPOINT=1円に  
有効期限の確認後賢くお使い下さい  
※ご利用には会員登録が必要です

名刺整理帳	991
5X 248	
B.Tコピー用紙A4	1,240

合 計	¥2,231
現金	¥2,300
お 釣	¥69

お買上げ商品数: 6  
(消費税等) 165

◆印はセブメテイクアクション税制対象商品  
レシ126 2018/11/23(金曜日)16:56  
取:#73654 担当: [redacted]

WAON POINT会員募集中!  
今すぐ会員登録でオトクにお買物!  
http://www.smartwaon.com  
[スマートフォン]で検索





(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	弘 毅 会	科 目	その他の経費
-------	-------	-----	--------

④

領収証



ゴジマ×ビックカメラ 橋本店  
電話番号 0282-24-4001

釘谷正夫 様

¥2,553-

(内、消費税等 ¥189)

お品物 ( ) 代として  
上記正に領収致しました。

「ゴジマ×ビックカメラ」ますます便利に！  
その1 ポイント交換でお得にお買い物！  
その2 どちらのお店でも修理を承ります！

2018/07/03/11:06 レジNo535/0101  
取引No8274 販売員

4544849457763	CCE1THBK	
カード	@¥788	¥851
P_1=851		
4544849457787	CCE1THM	
カード	@¥788	¥851
P_1=851		
4544849457794	CCE1THY	
カード	@¥788	¥851
P_1=851		
合計		¥2,553
(内、消費税等		¥189)
点数 3		

お支払い ¥2,553

現金	¥2,603
釣銭	¥50

後日サービスポイント加算の有効期限は

2018年08月02日(木)

※有効期限内に店舗へポイントカードと  
共にお持ちください。

※グループ会社では加算できません。

ポイント対象額	
ポイント 1%	¥2,553
今回予定ポイント	26



⑤

領収証



ゴジマ×ビックカメラ 橋本店  
電話番号 0282-24-4001

釘谷正夫 様

¥2,837-

(内、消費税等 ¥210)

お品物 ( ) 代として  
上記正に領収致しました。

「ゴジマ×ビックカメラ」ますます便利に！  
その1 ポイント交換でお得にお買い物！  
その2 どちらのお店でも修理を承ります！

2018/07/24/12:13 レジNo535/0101  
取引No4229 販売員

4988617266797	1THBK	
Jiカ	@¥920	¥993
P_1=993		
4988617266797	1THBK	
Jiカ	@¥920	¥993
P_1=993		
4544849457763	CCE1THBK	
カード	@¥788	¥851
P_1=851		
合計		¥2,837
(内、消費税等		¥210)
点数 3		

お支払い ¥2,837

現金	¥3,000
釣銭	¥163

後日サービスポイント加算の有効期限は

2018年08月23日(木)

※有効期限内に店舗へポイントカードと  
共にお持ちください。

※グループ会社では加算できません。

ポイント対象額	
ポイント 1%	¥2,837
今回予定ポイント	29



⑥

領収証



ゴジマ×ビックカメラ 橋本店  
電話番号 0282-24-4001

釘谷正夫 様

¥1,986-

(内、消費税等 ¥147)

お品物 ( ) 代として  
上記正に領収致しました。

「ゴジマ×ビックカメラ」ますます便利に！  
その1 ポイント交換でお得にお買い物！  
その2 どちらのお店でも修理を承ります！

2018/08/03/18:14 レジNo535/0103  
取引No4905 販売員

4988617266797	1THBK	
Jiカ	@¥920	¥993
P_1=993		
4988617266797	1THBK	
Jiカ	@¥920	¥993
P_1=993		
合計		¥1,986
(内、消費税等		¥147)
点数 2		

お支払い ¥1,986

現金	¥2,086
釣銭	¥100

後日サービスポイント加算の有効期限は

2018年10月03日(水)

※有効期限内に店舗へポイントカードと  
共にお持ちください。

※グループ会社では加算できません。

ポイント対象額	
ポイント 1%	¥1,986
今回予定ポイント	20

